

の後、該特許權の工業研究の爲め努力してゐたが、一千八百八十三年僅かに五萬マ
 ークの資本金を以て營業に着手した。初めは『獨逸エヂソン會社』といつてゐたが、
 一千八百八十七年に至つて現名に改めたのである。そして同會社は現時如何やうに
 發達したかといふと、準備基金六十二億マートを有し、資本金は十三億マートに増
 加し、使用人の全數は六萬〇八百人以上に上り、其の資本と人員と工場との多大な
 點に於て、將たその科學的技術の點に於て優に世界第一流の電氣製造會社の列に
 位し得るのである。

同會社に屬する主要なる工場は白熱燈工場、器具工場、機械工場、タービン工場、
 電線工場、自動車工場等である。白熱燈工場はジクキングゲン・ストラッセにあつて、
 六層の建築物である。二萬七千方メートルの面積を有してゐる。電氣發動機及び
 發電機工場は是等に關する器具製造の爲めに特別工場の必要に迫られ、一千八百八
 十八年に於て建築せられたもので、アツケル町にある。一千九百五年に至り更に擴
 張し、現在の工場面積は五萬五千方メートルで、八千八百人以上の職工を役使し、

一萬五千種以上の各種物品を此の建物内に於て製造してゐる。

機械工場は一千八百九十五年より同六年に亘つて建築せられたもので、フンボル
 トタインに接近してゐるブルンネン町にある。使用人は約一萬二千五百人に達し、
 一千九百十年より同十一年に至る營業年度には、經費總額二百卅八萬六千マートを
 以て九萬二千以上の變壓機及び各種の器械を製造した、タービン工場は一千九百三
 年ヒウツテン町に建設せられ、一千九百四年四月から職工三百六十五人を以て事業
 を開始したのであつたが、僅かその六ヶ月後になると、其の職工數は千〇五十五人
 に増加し、現時に於ては常に三千人以上の職工を役使してゐる。同社は同社が初め
 て得た『リイドレル・スチウムプフ』特許權に加ふるに、尙ほクルチス・ダービン車構
 造の爲めに米國のゼネラル・エレクトリック會社の特許權を譲り受け、益々ダービン
 製造に於て進歩發達を示したのである。

電線工場は、伯林を距る六哩のオーベルウエーミツワイドにある。其の地積は十萬
 平方メートルを占めてゐる。千八百九十八年の春から電線工場、鋼轉壓機、ゴム工

場及び絶縁線製造工場を當所に開始した。其の後尙ほ多くの分工場を増加し、一千八百九十九年に電話線製造部を開始し、それより二年後に於て葉板製造轉壓機を据付け、壓迫金屬製造部（同時に銅、亞鉛、錫及びアルミニウムを多量に精製してゐる）を開始した。此等の工場はスプレー川の岸にあるので、その粗製原料はいづれもみな水路に依つて搬び入れられる。同工場に於て使用する銅の使用高は年々大約二萬七千噸であるが、この高は獨逸に於ける毎年の銅消費總高の約七分の一に當るのである。電線工場の使用人数は現今では七千人以上となつてゐる。同工場は將來また海底電線製造業に於ても第一位を占むるにやうなるであらう。

自動車工場は、電線工場に接近して一千九百二年に増築せられたのであつたが、其後間もなく更にその面積を増加する必要に迫られ、一千九百五年には、其の工場面積は一萬二千五百平方メートルを有するに至つた。

斯くの如く同社は幾多の大工場を有するに拘らず、その業務はますます盛大となつて、とても前項の工場ではやり切れぬやうになつたので、遂にスパンダウ近傍に

於て約二千エーカーの大敷地を買収して大に擴張を計つた。同會社に屬する多數の製品中から、其の最も緊要なものを摘記すれば左の諸品である。

電氣發動機、最小發生力より最大發生力の各種發動機、中央發電所専用の爲め又は最近に於ては航海上推進機を推動する爲めの大蒸汽タービン、スイッチ・ギヤ、測量器具、電氣メートル、カーボン、金屬線、白熱燈、ネルンス燈、アーキ燈、水銀氣燈、扇風機、各種電線の傳送及び絶縁材料、自動車鍛接器械機具、鑛山用錐、鐵道信號具、電熱爐。

以上の諸製作の外に、左記の諸件も同會社の事業の範圍内にあるのである。

都會若くは工業中心地に對する完全なる電燈設備、電力傳送設計、殊に鑛山及び鐵工場に對する同上の設備、ポンプ設備一切、電氣引上機、電送設備、轉壓機の電氣推進法、各種の目的に應ずる起重機裝置、電氣鐵道及び電車道の完全なる設備、一切の電氣化學的設備、船舶設備等。

電車鐵道に關しても同會社は歐洲に於て第一流の技術を有してゐる。元來この事

業は最初米國に於ける經驗を基礎として行はれたので、當時歐洲では既に停滯點に達し、何等の新案も出てなかつたのを同會社は一種獨得の構造を有する電氣鐵道を案出し、斯業に一新刺戟を與へたのである。殊に過去數年來に於て補助磁極補助磁極を有する鐵道發動機を輸入し大に信用を博するに至つた。更に幹線鐵道事業の方面に於ても、會社は最初米國から列車緩急操縱法を輸入し、此の装置は急行列車試運轉に於て優秀な地位を占むるに至つた。更に之れよりも一層重要なのは、交流式電車鐵道法の輸入で、會社は普魯西と連合して大規模を有するスピンドレルスフェルド線鐵道にその最初の試運轉を舉行したが、此の交流式電流法の採用の爲めに電氣界は新生命を開くに至つたのである。それは何が故かといふと、此の方法の採用に依つて、幹線鐵道の長距離區域間に電氣を通ぜしむることに初めて成功したからである。

會社は其の製造に係る一切の機械及び器具に對して十分に科學上の注意を拂ひ、一切の特別必要條件は最も嚴重に格守してゐる。それ故その製造品の品質は極めて

優越なものとなつてゐる。そののみならず、其の仕上り製造品の美術的外觀にも多大の注意を拂つて、之れが爲めにかの有名な美術家ベレンス教授に其の任務を囑託してゐる。今や同社の製作品が、一見人をして愉快なる感と與へしめる外装を有するのは職として同教授の盡力によるのである。此處らの點はさすがに獨逸人だと稱せざるを得ない。元來美術と工業とは頗る縁の遠いものだとは何人も考へてゐる所であるが、獨逸人は美術家が専門的に得たその美術上の知識を恣んな風にして工業の爲めに利用してゐる。獨逸では美術上の知識をすら物質的利益の爲めに利用することを忘れて居らぬのである。

會社は本店以外に幾多の補助會社を設置し、他の種類の製作にも従事してゐる。且即ち無線電線會社、航行式空中飛行船會社、ライト飛行機會社等はそれである。且つ會社は米國のゼネラル・エレクトリック會社並びに數箇のトムソン・ハウストン會社との間に存在する親密な關係を利用し、是等の諸會社と多數の專賣特許權を交換行使して、その爲め業務上非常な便益を得てゐる。

一方に於て製造能力が非常に發達してゐても、事務所及び代理店の組織方法がよくなくては販賣上非常な不利益を蒙らねばならぬ。會社は此の點にも抜け目なく合理的な所置を取つてゐる。特に米國杯に流行してゐる新らしい言葉を以て云へば『科學的營業經營法』を採用してゐるのである。今や獨逸に於ける著名な都會にしてアルゲマイネ會社の事務所の存在してゐない所はないばかりでなく、歐洲諸外國に對しては和蘭、露西亞、諾威、羅馬、西班牙、葡萄牙、瑞西、埃太利、瑞典、バルカン半島諸國、伊太利及び英吉利にその直接の代表者を置き、歐洲以外には日本、支那、アルゼンチン、ブラジル、コロンビア、埃及、グアテムラ、小亞細亞、墨西哥、東印度、西比利亞、白露、海峽植民地、ウルグウエイ、南亞非利加、壕太刺利亞に於て支店、直接代表者若くは代理者を置いてゐるのである。

シーメンス・シュツケルト電氣會社

其の創立以來の歴史の古く、且つ工場の大なる點に於て世界に誇るに足るのは本社を伯林に有するシーメンス・シュツケルト電氣株式會社である。同社は今を去るこ

と約七十年前、即ち一千八百四十七年の創立に係り、當時は『シーメンス・ハルスケ會社』と稱してゐたが、一千九百三年に至りシュツケルト會社と合併して現今の意義に變更したのである。會社は伯林及びニユルンベルヒに大きな工場を有してゐる。シーメンス・ハルスケ會社の創立者たるフォン・シーメンスは、發明の才に富み、精勵努力群を抜んじた人て、軍職に従事せる傍ら、電氣學の研究を爲し、或は電氣鑛金の如き、或は電氣火花を光線の速度測定に應用せるが如き、或は電氣計器を改善せるが如き、或は電信術の方式を案出せるが如き、或はまた初めてゴム被覆電線を海底電信に應用せるが如き、其他幾多の發明を爲し、大に世界に名聲を博するに至つた。氏は當時有名であつた機械技師ハルスケと合同して茲に初めてシーメンス・ハルスケ會社を組織し、ハルスケは主として工場を管理し、シーメンスは設計請負等の任に當つたのであつた。併し同社は最初は極めて微々たるもので、その職工の如きも僅に數十人に過ぎなかつたのであつたが、時勢の要求と技術の優秀とは相待つて業務は次第に繁榮し、先づ伯林・フランクフルト間の地下電信布設に成功し、次

ぎには露國モスクワ・ペトログラード間の地下電線布設にも成功し、一千八百五十年にはモールス電信機の製造を開始し、同時に伯林に於ける警察及び消防用の警報装置に始めて被鉛線を利用し、其後各種の發明を爲すと同時に益々事業を擴張し、工場を増築し、クロンスタットの海底電線を完成し、更にモールス電信機を改良し、テレマシンを發明して長距離通信に使用したが、これが現時のダイナモの先驅たりまた同時に變壓機の嚆矢を爲したものである。尙ほ同社は海底電信には特に陸續として成功し、遂に印度カルカッタから波斯、露西亞を經由して倫敦に達する延長一萬哩の電線布設を引受け、比較的短時日のうちに之を完成して、益々その名聲を世界に高めたのである。

尙ほシュツケルト會社の沿革を述べれば、その創立者たるシュツケルトは、最初一人の助手をも有してゐない小工場主であつたが、勤勉努力の結果、種々の電氣器を發明し、殊にセダン落城戰勝記念日にその發明した電燈發電機を使用して初めて點火するに及んで大いに名聲を博するに至つた。それから次第に工場を擴張し、ワ

ツケルトと協力して電燈發電機及び動式弧光燈を始め各種の電氣機械を製造し、盛んに各所に供給すること十ヶ年にして七十餘ヶ所に及び、其間バルメに蓄電池を應用すること、直流三線式の應用等を試みていづれも成功した。更に進んで馬車鐵道に代ゆるに電氣鐵道を以てすることゝなつてからは、事業は急速に發展し、内外各地に於て五ヶ年間に八百九十キロメートルの電氣鐵道を布設し、並びに一千二百輛の電車を供給するの盛況を呈し、遂に一千八百八十八年には會社組織となし、更に之れを株式組織に改め、本社を伯林アスカン街に置き、各地に支店を設置し、一千九百三年に至つて前に述べた通りシーメンス・ハルスケ會社と合併したのである。

現時のシーメンス・シュツケルト會社はシャロットンブルグ、ガルテンフェルド、ノムネンダム、リヒテンベルヒの四ヶ所に大工場を有してゐる。殊にノムネンダム工場の一部を爲してゐるウエルネル工場は世界最大建築物の一で、其の總建坪三萬坪以上、東西五列の主要工場を附屬工場によりて連結せる方形の建物である。木工、金工、硝子工、草工、塗工等の各部門に分たれ、主として精密計器其他弱電流

器具を製作してゐる。

發電機工場も亦たノムネンダム工場の一部を爲すもので、建坪一萬九千餘坪あり、本館は五層樓より成り、原動力は凡て電力を使用し、小は半馬力から大は千五百馬力のものを使用し、使用電力は常に一萬馬力以上に達する。同工場に於ては主として直流交流のタービン型發電機、水力用高速度三相式發電機、電氣機關車廻轉交流機、各種の電動機等を製作してゐる。

ケーブル工場は建坪二萬二千餘坪を有する四層の大建築で、運河及び鐵道の水陸兩便を有し、大起重機を設備し、小は電鈴用の電線より大は六萬六千ヴォルト用の鎧裝地下線をも製造してゐる。其他ノムネンダム工場には尙ほ細品製作工場、電動機工場、自動車工場、鐵道用器製作工場等各々別々の大建築物を有し、之れに附屬してニュルンベルヒには變壓器大工場があり、シャルロツテンブルヒの配電盤器具並びに配電盤製作工場やガランテンフェルトの電球製作工場の如きも誇稱するに足るものであるが、特に後者は眞に世界無比と稱することが出来る。それでも尙ほ會

社は現状を以て甘んじてはゐらず、日進月歩の科學の發達に遅れざらんことを努め、各種の改良發明には寸時も怠らず、多數の科學者を招聘して常に研究の歩を進めしめ、此の精良無比の設備を遺憾なく利用し、精良無比の製品を産出し、世界各國到る所に多大の販路を有し、今や全地球上シーメンスの名を聞かざる所がないまでの盛運を呈してゐる。

第十章

地中に無限の富を有する獨逸の鑛業

獨逸が最近五十年間に於て極めて急激なる速度を以て大工業國となつたことは、前文に於て屢々述べた通りである。それは同國に於ける科學の進歩が原因を爲して居ることはいふまでもないこととて、そのことも克く論じておいた。所がいくら科學が進歩しても、工業の材料となる天然の物質が缺乏してゐては決して完全なる發達を爲すものではない。然るに獨逸は地中の自然的財寶に富んでゐる國である。第一石炭、褐炭、鐵鑛に富めることは、歐羅巴の如何なる國（英國をも含む）と雖も獨逸に及ぶものはない。鉛鑛と銅鑛とは、其の產出の規模に於て北米合衆國及び其他二三の國に比肩することは出來ないが、併し國內の諸地方に可なりの產出がある。之れに反し亞鉛鑛に至りては、其の多量なることに於て獨逸は合衆國と世界第一の產地たるの名譽を争つてゐる。更に獨逸が他國と全く類を異にして優勝の地位を占

めてゐるのは岩鹽を有することである。殊に岩鹽中經濟上重要な地位を占めてゐる加里鹽は、獨逸に於て自然的獨占の狀にある。

獨逸に於ける最も重要な石炭の產地は、ライン下流ウエストファリアであつて、アヒエン市によつて白耳義及び北部佛蘭西の石炭產地と連続してゐる。之れに亞くものは、同國の最南東隅にある上シュレージヤの採炭地である。尙ほ其他の重要な產地は、下シュレージヤ、ザクセン王國、帝國の西境に接するザール地方及びロートリンゲン等にある。

上シュレージヤの產出に係る石炭は、その炭塊の巨大なること、炭層の齊整してゐること、爆發瓦斯の絶無なること等を以て特色としてゐる。それ故炭價も亦た低廉であるが、只だ採掘の發展を妨ぐるものは、其の位置が海に遠く且つ隣國露西亞及び埃太利、匈牙利の關稅境に密接してゐることである。

之れに反しライン下流のウエストファリア採炭地は、其の位置が交通の便を有するのみならず、炭質に於ても上シュレージヤの採炭地のものに優つてゐる。即ち上

シユレトジャに於て重きをなせる劣等炭を有する外に多量のコークス炭を含有してゐる。下ライン及びウエストファリアの炭坑は、炭層が亂雑で爆發瓦斯の發生が多量であつたが爲め、從來は多少の困難を感じたものではあつたが、現時に於ては非常なる發展を爲し、獨逸全國の石炭總産額の二分の一以上を占むるやうな成功を博してゐる。同地と同じく上シユレトジャも全産額の約二分の一を占め、其他の諸地方は僅にその殘餘を産出するに止まるのである。

獨逸に於ける石炭産出が同國に於ける經濟上如何なる地位を占むるかといふことは、次きの報告によつて之れを知ることが出来る。即ち一千九百十一年には十五億マートの價格を有する一億六千萬噸の石炭を産出した。抑も此額は世界産額の百分の十五、英國産額の五分の三、北米産額の三分の一以上に當るのである。且つ英國及び北米との比例は石炭の産額に加ふるに褐炭の産額を以てすれば、獨逸は更に優勝の地にあるといふことが出来る。獨逸に於ける褐炭産出額は一千九百十一年に七千四萬噸に及び全世界の第一位を占めてゐる。褐炭は主として中部北獨逸及びライ

ン下流の二地方に於て産出する。褐炭は大抵土のやうな状態で採取せられるのであるが、之を壓縮して煉瓦形となし運搬に使してゐる。且つ褐炭の火力を強くする方が發明せられてからは、其の發掘は急に盛大となつたのである。

獨逸帝國に於ける主要なる採炭地の位置が同國の國境に近いので獨逸石炭の輸出額は大に増加し瓦形コークス及び石炭の輸出高を合すると獨逸に於ける全産額の五分の一を占めてゐる。けれども更に一方に於ては英國から輸入せられてゐる。これは主として東海及び北海沿岸の商港に利用せられ、また水路に依つて深く内地——例へば伯林などへ行くものである。更に褐炭はエルベ川に依つてポヘミヤから輸入せられてゐる。

獨逸に於ける石炭の價格は、一定數の販賣組合に依つて定められることになつてゐるのであるが、ライン、ウエストファリア石炭代理組合がその中に於て最も勢力を有してゐる。從來是等の組合が同國に於ける一般的利益の爲めに盡した功果は大に之を認めねばならぬことである。即ち彼等の意見は、炭鑛等は石炭を消費する工

業の諸部門が適度な炭價に依つて永久に他國の工業と競争に耐ゆることが出来る場合のみ繁榮し、且つ更に大なる發展を爲すことが出来るといふに在つたのである。次ぎに普國が多くの炭坑を所有することも亦た炭價に有利なる影響を及ぼしてゐる。普國の石炭産額は、現今獨逸全國の産額の八分の一を超えてゐるばかりでなく、同國は石炭市場に於て大なる勢力を得んが爲めに、最近十年間に著しく其所有を擴張し、同時に自己の營業上の經驗を集積して鑛業に伴ふ危険を有効に防遏する方法を講じたのである。この目的のために普國は特別検査委員なるものを設置した。即ち一千八百八十年代には爆發瓦斯委員、一千八百九十年代には石塊及び墜落委員、最近十年間には索道委員を設置した。この種の委員設置が事實上如何なる効果を顯はしたかといふことは下記の事實を見ても明である。即ちウエストフアリア鑛區に於ては石炭百萬噸につき年々生ずる瓦斯爆發の數は一千八百六十一年より一千八百七十年までには三、九六、一千八百八十一年より一千八百九十年までには三、一、一であつたのが、一千九百一年より一千九百十年までには〇、二五に減少してゐる。

鐵鑛は昔しは獨逸の各地方に産したのであるが、現今に於ては昔しの採掘地で重さを爲すものは甚だ少いのである。そのうちの重要な鑛區はライン右岸ジーク、ライオン、デイル河邊にあつて、一部は燐に乏しい赤及び褐鐵鑛、一部は滿俺及び燐に富んでゐる炭酸鐵鑛を産出する。近年に至り此等の産鐵地に於て遙かに優勝なる地位を占むるやうになつたのは、北部ロートリンゲン及び該地方からルクセンブルヒ及び佛國に跨がる産鐵地である。それらの地方には、地面に近く燐に富んでゐる卵石褐鐵鑛の層、所謂『ミネット』と稱するものを産出する。該地方の鑛山等は最近二三十年間に於て長足の進歩を爲し、一千九百十一年に於ける獨逸の他の地方の鐵鑛全産出高が六百萬噸なのに對して二千四百萬噸以上の産出を有してゐる。抑も『ミネット』鑛業は、含燐銑鐵から鍛鐵を得る『トーマス』式の發明によつて、從來殆んど無用の長物を以て目せられてゐた含燐鐵鑛を有利的に溶解することが出来るやうになつてから始めて偉大なる發達を爲すことが出来たのである。獨逸が此種の鑛石を豊富に有するの一事は、この發明あつて以來、特殊の天恵たることを事實に於

て顯はし、獨逸の産鐵額は忽ちにして増加し、既に前世紀の末年に於て英國を凌駕し、現今に於ては只だ北米合衆國に及ばないだけである。恁んな風に獨逸に於ける鐵額が非常に増加を示せるにも拘らず、それありても一層急激に増加する獨逸熔鐵爐の需要を充たすが爲めに年々多量の鐵鑛を輸入するの必要が生じて來た。鐵鑛の輸入額は一千九百十一年には始んど千百萬噸に達した。(同年に於けるミネツト鑛の輸出は二百五十萬噸であつた。)輸入鑛の原産地は主として北瑞典及び西班牙の外に近時は獨逸ミネツト産地に續いてゐる佛國領等からである。

次ぎの數字は鐵消費の増進と共に銑鐵の生産が如何に發展せるかを示すものである。獨逸帝國に於ける銑鐵の生産は、僅少の退歩を除き、間斷なく向上し、一千八百七十年の百四十萬噸から一千九百十一年の千五百三十萬噸(價格八億五千萬マルク)に上り、現今に於ては唯だ合衆國に劣つてゐるのみである。一千九百年に於ては英國の産額を凌駕し、他の諸國は獨逸よりも遙かに下ることゝなつたのである。銑鐵生産額の約二分の一はライン下流ウエストフアリヤ、三分の一はロートリンゲン及びブルクセンブルヒ、殘餘の六分の一は他の諸地方——主として上シユレジャ及びジオリライン河邊採鑛地から供給されてゐる。近頃はまた北海及び東海沿岸の二三商港にして生産に關與するものもある。そして産額は年を追ふて増加してゐる。材料は水路に依つて多くは外國から供給せられてゐる。生産せる銑鐵の五分の一は鑄造用に供し、五分の四は精製して銅鐵とせられる。鑄鐵所の製品は一千九百十一年には約千四百萬噸に達し、其の價格は約二十五億マルクである。

茲に特に注意を拂ふべきは、獨逸に於ける近時の製鑛業の發達に伴ふ有利の現象として農業が之に依つて特種の恩恵を蒙つてゐる事である。即ちミネツト鑛から製出せられる銑鐵の精製は燐に富んでゐる鑛滓を供給する。その鑛滓は之れを粉碎すると貴重なる肥料となるのである、また他の方面に於ても、從來から獨逸の諸工科大學が獎勵してをつた科學と工業との提携が宜しきに適つたが爲めに、製鐵業が勃興したと共に、廣く一般社會を利することが出來た。例へば鋸鑛爐コークスを製出する際に、石炭から驅逐せられた液體及び瓦斯體の成分を抑留し、之れを利用す

る方法を發明したが如きは即ちそれである。コークス瓦斯によつて電流を生ずる發動機を運轉し、瓦斯から先づ分離せるアンモニヤは硫酸と化合すれば含窒肥料となる。此の肥料は不廉なる智利硝石の代用品として『トーマス』式鑛滓と共に農業を利すること頗る大なるものがある。タールとベンツオールとは、コークス製出の副製品として多數の化學的製品、特に色素藥劑及び爆發製造の主要材料となる。これ故に、コークス製造に伴ふ副製品の産出が、獨逸に於ける化學的工業大發展の一因を爲してゐるといふことが出来る。

コークス鑛爐の諸瓦斯の外、現今に於ては尙ほ、往時は鑛鑛爐から大部分利用せられずに散逸した酸化炭素に富んで可燃性を有する放散瓦斯をも燃焼の用に供してゐる。また營業上の經濟的施設の爲め、鑛爐から生ずる熱を以て管に銑鐵製造其のものに必要な機械を運轉するのみならず、尙ほ其の他の目的の爲めに多量の蒸氣若くは電流を得る方法も案出せられてゐる。且つ同一目的の營業を集中し人間の勞働に代ふるに機械的勞働力を以てせんとすることも努力の一ツとなつてゐる。それ

故採鑛場に於ける一切の運搬設備は勞働者の最少數を使用することを以て主眼としてゐる。次ぎには熱の節約のためには、鑛鑛に於て生じた銑鐵は直ちに鑛解の状態を以てコンバーター一名マルチン式鑛爐に導かれ、精練せられ、鑄型に於て凝固して塊をなしたる鑛鑛がなほ白熱のまま、壓延器に移され、軌條、鐵板及び他の製品となさるゝ装置を爲してゐる。斯くの如くにして現時の獨逸の採鑛場は既に理想的状態に近づき、鑛爐中のコークスに依つて生じた熱のみで鑛石を變じて製品と爲すに必要な一切の採鑛上の工作(機械の運轉を含む)を行ふに充分なるに至つてゐる。

炭鑛業の場合と同じやうに、製鐵業にも利害關係者の團體がある。銑鐵組合、製鋼組合及び諸般の鐵製品販賣の組合がそれである。また此の場合にも諸組合は、その營業上の大局に着眼し、よく彼等全體の利益とする所を解し、且つ社會の利益をも度外視してゐないからその施設方針は著々として實益を供してゐるのである。殊に彼等は外國と取引を擴張することに努め、單獨の取引に於て不可能なる大成功を收めてゐる。

鐵以外の金屬中、貴金屬金及び銀は獨逸の鑛山業に於て重きを爲してはゐない。これらは主として銅及び鉛鑛の副産物として獲得せられるに過ぎないのである。鉛は一千九百十一年に於ては一億五千萬噸、銅は三千七百萬噸の多量を産した。之れを世界の産額に比すると、獨逸は鉛に於てその七分の一、銅に於てその廿五分の一を生産する割合となるのである。然るに獨逸に於ける兩金屬の消費量はそれよりも遙かに多量である、即ち鉛は世界消費額の五分の一、銅は四分の一に及んでゐる。それ故外國、殊に北米から鉛は七萬噸、銅は十九萬噸の多量を輸入せざるべからざる様な有様になつてゐる。獨逸に於ける此種金屬の消費額が北米合衆國を除く他の一切の諸國を凌駕することは、以て獨逸に於ける機械工業、電氣工業及び化業工業上の需要の甚大なることを語るものである。そして以上の三工業に消費せられた鉛及び銅の大部分は製品と化して再び外國の市場に出されるのである。

亞鉛は鉛及び銅と經濟上の價值相等しいものであるが其の生産と消費の割合は鉛と銅に於けると大に其の趣きを異にしてゐるものがある、獨逸は元來鉛及び銅より

も亞鉛に富んでゐるのであるが、亞鉛工業はその起源が新しいから同金屬の貯藏は尙ほ多く消費せられてゐないのである。亞鉛の第一産地は上シユレジャである。ハルツ山及びライン河地方之れに次ぎて重きを爲してゐる。併し内地産の鑛石の外、輸入鑛の亞鉛鑛場に於て精製せられるものも亦た少くはない。

粗製亞鉛の産額は斯かる事情の下に一千九百十一年には二十五萬噸に及び、世界産額の約十分の三に當つてゐる。この中獨逸國內の消費額は二十二萬二千噸であるそれ故銅及び鉛消費額の割合に反して二萬八千噸の粗製亞鉛は之れを輸出することが出来る。粗製亞鉛の外に、尙ほ三萬六千噸の亞鉛製品の産出がある。併し獨逸の亞鉛生産額は多年諸國の上に位してゐたのであつたが、近年に至り稍々合衆國に劣るやうになつた。獨逸の亞鉛鑛場より供給せられた粗製品の總金額は一千九百十一年に於ては三億マールに上つてをる。

現時獨逸の鑛山業に於ては、石炭及び金屬鑛の外に、尙ほ岩鹽がある。獨逸に於ける鹽の製造は、昔しは主として鹹水を蒸詰める方法に限られたのであつたが、近

時に至つてます。鹽を地中に求め採鑛法によりて鹽を製出するやうになつた。岩鹽の巨塊の外、尙ほ多量の加里鹽の層が獨逸の各地方に存在することが發見せられた。即ち採掘の價值のある加里鹽鑛區は、中部及び北部獨逸に屬するザクセン州及びハノーバー州にある外、近年また下ライン河畔及び上エルサスにも産することが明かになつた。且つ不思議にも加里鹽の播布が殆んど獨逸帝國の版圖内に限られてゐることは從來の報告によつて證明せられてゐる。また地球の他の地方に採掘の價值のある加里鹽層の存在するや否やは未だ世人の知らざる所である。また加里鹽を製出する他の方法はあるが、それは有望なものでないが故に、獨逸は加里鹽に對して自然的に專賣權を有してゐるやうな有様である。

第十一章

最も完全なる獨逸の機械製造器具工場

普佛戰爭前に於ける獨逸の經濟狀態は頗る窮乏を極め、當時工業國として富強であつた英國に比すれば到底その敵手たることが出来なかつたのである。然るに戰後獨逸は猛然として奮起し、富國強兵を以て國政の大本と爲し、銳意其の經營に勉め、今や各種の工業に於て英國を凌駕するやうになつた。機械工業に於ても亦た然りである。

今から約四十有餘年前に於ては英國の機械工業は固より獨逸の上にあつたのであるから、當時獨逸の青年は英國の諸工場會社に備はれ機械工業の見學に従事してゐるものが頗る多かつた。是等の青年中の一部は獨逸政府の富國方針に従つて先進國たる英國の商工業を研究し、他日に於ける母國の發展を助けやうとの志望を有するもの、また他の一部は獨逸の皆兵主義を避けて英國に渡來せるもので其中に英國に

歸化したものも尠くはなかつた。併し後者といへどもその中の一部分は後日に至つて祖國の商工業發展に對して大なる貢獻を爲したのである。當時英國に於ける是等の獨逸青年は、粗衣粗食に安んじ、薄給冷遇に甘んじ、營々として勞作に従事し一意専心英國の工業を習得してゐた。當時諸外國人はこれらの獨逸青年を「獨逸猶太人」と稱して非常に輕蔑を加へてゐたが、彼等は敢てそんなことに頓着せず、英國の國富を増進せる商工業の發達に鑑み、且つその長所とする機械工業の習得に従ひ、以て國外の富を吸集する事に力め、四十有餘年の後今日に於ては該工業に於て遙かに英國の上に出づるに至つた。今同國に於ける機械工業の一斑を示さんが爲めに獨逸製造に係る機械類の實例を擧げやう。

獨逸は元來鬱蒼たる森林を有し、水の供給も多いから製紙業が非常に發達せるは敢て驚くべきことではない。然し十九世紀の初期に至るまでは一般に手工に依つてのみ之を營んだのであつた。然るに同國に於て廻轉式製紙機械が發明せられてからこの事業は非常に發達するやうになつた。今一例を擧ぐると、オベルライニンゲン

にある有名なシヨイフ・エレン製紙工場の廻轉式製紙機械は、ハイデンハイム（南獨逸）の「ヨット・エム・フライス」の建設に係るもので、其の篩は幅が八フィートで、この機械で製出する毎日の製紙高は十二噸に達し、紙は幅七フィート二インチで、長は五十四哩ある。其の面積を算すれば二二七、一五五方ヤードとなる。此機械を運轉するには約五千馬力を要するのである。更に「ヨット・エム・フライス」は幅十三フィートの製紙を爲すことが出来る一層大なる機械を建設し、それによつて毎日五千噸の紙を製出し、三千馬力の動力を使用してゐる。前世紀の中頃までは原料としては只だ襤褸のみを使用してゐたのであつたが、其後漸次紙の需用が増加するに至り、襤褸の供給が不足することゝなつたから襤褸の代用品として本原質を製紙原料とし、その缺乏を補ふことゝなつたのであるが、これも獨逸の發明である。其の結果として廿世紀の初頭に於て獨逸は歐洲に於ける諸外國中第一等の産出額を示すやうになつた。現今に於ては唯だ最上等の紙のみがリンネン及び其の他の襤褸から、製出され我々が平常使用する大部分の紙は本原質から製造するのである。之れが爲

め獨逸全國の森林が採し盡さるゝといふ様な非常な盛況を呈してゐる。大戰開始後獨逸から紙の輸出が杜絶する様になると、日本は固より歐洲の各國も直ちに紙類の不足を告げ、大に困難を感じ、且つ感じつゝあるのを見ても、同國の製紙業が如何に盛大なものであるかといふことが解らう。獨逸に於ける最新式の製紙機械設備に依ると唯だ僅かに四人の職工が连接的に出來てゐる一臺の大機械に使用せられるばかりで、毎日廿八噸の本原質が産出され、この機械を動かす爲めに二千馬力の動力か晝となく夜となく絶えず使用せられてゐる。實に異常なる機械と云はねばならぬ。製紙業が斯くの如き異常なる發達を爲したので、之れと共に印刷術の如きも大發展を爲した。獨逸人は全く近世風の印刷業を起したといふことが出來るのであるが、彼等は絶えず其の機械に幾多の改良を施し、印刷術をして今日の如き完全なる状態となしたのである。

砂糖の製造も亦た獨逸に於ける一、大産業で其の年々の産出高は二百萬噸以上であるが、獨逸では砂糖製造に關する大小の器械を悉く自國で供給し得るのである。

みならず斯の如き機械を外國にも澤山に輸出してゐる。其他獨逸は電氣の水車應用、高速度の蒸氣機、複式汽機、水管汽罐、火床の改良、加熱器、船舶用水管汽罐、蒸氣タービン、蒸氣機補助機關、ポンプ、電氣裝置に依るポンプ、ピストンポンプ、下水設備、空氣上げポンプ、遠心ポンプ、給水機、壓搾空氣機關車、送風機、塵埃除去器、真空掃除器、起重機附機關車、無火蒸氣機關車（此の機關車は火災の危険ある所、または其の通過する距離の短い所に於て普通の機關車及び電氣機關車の代用をするものである。此の機關車は再蒸氣法によつて運輸するもので、即ち蒸氣は壓力の加へられてある熱湯の壓力を減ずることに依つて蒸氣を生ぜしめるのである。）瓦斯發生機、自動車、飛行船、飛行機、ディセル機、各製造機械（紡績、製絨等の）に於ても皆な幾多の改良を爲し、精良堅牢なるものを自國及び外國に供給してゐるのである。

且つまた獨逸に於て注意すべきは各種の機械を製造する機具工業の發達してゐることである。此種製造業の一例としてルウドウィツヒ・レーウエ株式會社のことを舉

げやう、この會社は獨逸に於ける機械工業に貢献し、現時の如き盛運に至らしめた諸工業家中に於てその首位を占めてゐるものである。同會社が斯る貢献を爲せしには諸種の理由を擧げることが出来やうが、就中最も著明なる理由は、歐洲に於て第一に彼の亞米利加式として知られた最良の製造方法及び緻密精確にして常に秀越なる機械器具及び其の製造方法を採用したるにある。その製作品及び其の製造方法は常に最良にして最新なるに止まらず、更に之れを補ふに獨逸に於ける價值ある經驗を以てし、最も堪能なる獨逸工業の智識を有するものによつて實行せられたことは大に注目に價ひすることである。

今同會社の發展を見るに、同社は一千八百七十年に故ルウドウィツヒ・レ・ウエ氏の創設したもので、氏は北米合衆國に於て其當時の機械工業、製造業を實地に視察し、歸國後先づ第一に最も進歩せる階級の機械及び器具のみを使用し、交換式裁縫機械システムの製作を始めた。其の後幾許ならずして獨逸政府は之れを奨勵して小形武器の製造を企てしめ、其の結果裁縫機械の製作は此の武器製造の爲めに壓倒せらるゝに至つた。此の時から氏は器械製作用器具の製造に従事し、商會繁榮の基礎は茲に確立するに至り、獨逸國運の増進と共に氏の營業額も大に増加して來た。即ち當初のレ・ウエ工場もまた其他の獨逸諸工場と同じく漸次に發達したもので、所謂遞増計畫法によつてゐるのである。同社の當初の工場は伯林市の最も繁華な地に位してゐたが、其の面積及び設備の不充分なるより工場としての必要なる希望を充たすことが出来なかつたので、茲に舊工場を捨て更に大面積の土地に新工場を建設することとした。特に工場の各種部長は英、米の兩國に於て事業上の研究を爲し、其の結果として次ぎのやうな主要なる考案を採用し、爾來之れを嚴守することとしたのである。即ち

る。即ち

〔一〕 凡ての機具は其の標準物と特種品とを問はず、出來得る限り精確且つ最良のものたるべく、特に勞力を減少するに必要なる方法を要す。且つ各機械は出來得る限り熟練者をして之れを實驗せしむること。

〔二〕 作業全部の管理及び監督は、最も堪能なるものに一任すること。機械及び

器具類一切は其の保管及び状態に關し責任ある器具室職員の下に置くこと。

〔三〕 作業をして繼續的に順序よく、次より次ぎの機械へと連絡せしめ、以て製品の完成を計らしめ、不必要なる原料運送の手續等を避けしむる整理を爲すこと。

一千八百九十六年同會社は現時の新工場たるハッテンス町十七番地乃至廿番地に移轉し、之れと同時に従來器具の製造と同一工場で作つてゐた小形武器類の製造は全然之れを分離して『ドイツチエワツフエン・ウンド・ミュニチオーンスフアヅリケン』（獨逸武器軍需品製造工場）に譲り渡し、器具及び機械具の製造のみに従事することゝなつた。

獨逸が特種の機械器具及び計器を用ゐて大規模の精密なる機具製造を起すに至れるは此の會社に負ふところが特に大なるのである。即ち同會社の製造品は常に小形武器、裁縫機械及び自轉車のみならず、また機關車、蒸氣機關車、發動機裝具及び

機械製作に關する一切の機具製造である。且つ會社は絶えず新しい機具及び用法を輸入實習するに力め其の最近のものは圓筒形の挽搗器械の製造であるが、これは精確なる圓筒作業の製造に關して最も近世的方法である。殊に同社は獨逸に於て最初に標準機械を多量に製造し、尙ほ一般製粉機械、機關旋盤、運行旋盤及び自動螺旋機を製作したる者の嚆矢であるのみならず、今では是等の一切の機械は最も完備の域に達してゐる。更に茲に一言すべきは、同會社は種々の近世的製造法に關する科學的性質の説明目錄書及び夥多の小冊子を廣く分布し、これらの専門の作業に關する教育的勢力を獨逸及びその他の諸國に普及せること、及び此の著作は機械工業及び冶金學に一般關係を有し、並びに常に機具小器具及び計器に關する問題に接觸する人々よりして痛く感賞せられつゝある一事である。

大戰前まで同社が各國の砲兵工廠や旋條銃製造所へ其の工場の全設備一切を引受け若くは其の一部分の製造機具を供給した方面を摘記すれば次ぎの通りである。

獨逸帝國小武器製造所

シュバンダウ

同 上
 同 上
 バアファンイアン王國武器製造所
 王國小武器製造所
 白耳義王國小武器製造所
 噠馬王國小武器製造所
 諾威小武器製造所
 瑞典王國小武器製造所
 和蘭王國小武器製造所
 葡萄牙王國小武器製造所
 西班牙王國小武器製造所
 露西亞帝國小武器製造所
 土耳其帝國小武器製造所

ダンツイヒ
 エルフウルト
 アルベルヒ
 エンフイルド・ロツク
 リエデウ
 コーベンハーゲン
 ケニヒスベルヒ
 エスキルトウナ
 ヘムスベルヒ
 リスボン
 ドレドー及びオヴイエダ
 イセフスク
 コンスタンチノール

セルヴィヤ帝國砲兵工廠
 支那砲兵工廠
 同 上
 同 上
 同 上
 同 上
 同 上
 日本帝國砲兵工廠
 巴西帝國砲兵工廠
 墨西哥砲兵工廠
 アルゼンチン砲兵工廠
 智利砲兵工廠

クラグイエヴァツ
 漢 陽
 廣 東
 長 沙
 江 南
 濟南府
 德 洲
 東 京
 リフデジアネエロ
 メキシコ市
 プウエノスアイレス
 ヴアルパライソ

同會社の工場建築圖案及び其の各部按排の整理してゐることは、特に我國諸工

場の参考たるべきものがあるから、今その概略を記るさう。近來歐米に於ては名ある機械工場は孰れも皆な自家附屬の技術試験所を設けてゐるが、同會社に就いても第一に注意すべきは其の技術試験場である。其の設計は極めて完全で、即ちその工場に於て使用する種々なる金屬、石炭及び油等一切の粗成原料の全部を試験することゝなつてゐる。更にまたその試験は、鑄冶場に於て製作した各鑄造物に對しても之れを行ひ、一々その記録を作成し、其の製作物が一樣に整齊せることを保證するは勿論、別に顧客の希望に依つて同一の試験を爲す等、注意の頗る周到なるものがある。同社の鑄造物が世界に於て多大の好評を博してゐるのは、一に此の試験場の周到なる管理の結果であるといふことが出来る。

同社の工場は十四棟の主なる建物と必要なる仕事場から成つてゐる。その中には中央事務所、機械組立場、小道具製作場、鍛入及び燒鈍場、發電場、鋼鐵材料倉庫、冶工場、模型工場、特種機械工場、鑄物工場、試験所等を有し、各種の建築物は中央事務所を取り圍んでゐて、工場への原料運送費を節約し、且つ作業全部を各種の

部署にたやすく聯絡せしめるやうに出来てゐる。各種の工場間には輕便鐵道を設けてあることはいふまでもなく、その中央大發電所の如きは、斯くの如き一個の鐵工會社の發電所としては頗る巨大なもので、必要のある場合にはその總馬力を三千六百馬力まで出すことが出来る装置がしてある。同所には四個の直立及び一個の横置蒸氣罐、一個のタービン機關があり、充分の電氣と蒸氣とを自由に生ずる事が出来る。同工場の機械工場は同社諸建物中の最大なもので、其の長さは三百六十六呎あり、中央に大きな移動起重機トランポング・クレーンを備へ、平作、鑽孔、磨挽及び砥石機工室グリインヂングに分れてゐる。監督長の事務所は、此の建物の一部を占めてゐて、一切の製器の部分々々を製造中に自由に監督することが出来るやうに構造せられてゐる。一部品及び竣工せる諸機械は、此の監督室の前を通過して倉庫または積出場へ送らるゝのである。又此の工場内には實驗室があつて、其處では新計畫及び新しい刃物等を實際に試験する。また旋盤、チャッキング旋盤、ギアカッティング部は一方面に纏めてあると同時に、螺旋切及びオートマチックマシン部は他の一方面にまとめてある。

更に工場の各部に於て其の部内で使用する一切の及物等は其の倉庫があつて、その倉庫内にある及物及びその他の要具は極めて清潔に且つ順序正しく整理せられ、何時でも職工に渡すことが出来るやうに準備が行き届いてゐる。尙ほ此の機械工場には特殊の機械工場と普通の及物工場及び特殊の及物工場を備へ、一定の型に作るべき部分品を製造する室は大機械工場内に設けてある。試験所内には荷造所、半製品及び製品の製作所並びに一定の型に作るべき部分品の製造所がある。此の工場に於ては、凡て特殊の機械は注文先きに渡す前に此の試験所で充分の試験を爲すを例としてゐる。煉鐵及び鍛冶工場は比較的小さいが、その内部は極めて清潔であつて煤烟や塵埃を止めてゐない。

全工場の床張の構造は、コンクリートを以て埋置したH型梁より成り、其の上に厚さ一吋の板張(溝が彫つてある)を置き、その上を厚さ七吋乃至八吋の堅固なアメリカ風の床張で蔽ふてある。恣うしておけば經濟上から見ても耐久力があり、且つ容易に室内を清潔にすることが出来るのみならず、機械の安置に就いても手數と費用

とが省けるのである。床は常に乾燥し、輕量の機械類には適當なる支臺となり、また重量の機械類は地床上に置くのであるから安全なるはいふまでもない。次ぎに其の工場内の傳熱方法は冬期には強壓衝汽法による装置を以て之れを暖め、夏季には同法によつて新鮮なる空氣を配置して建築物内の通風を最も有效ならしめてゐる。最後に職工待遇の行き届ける設備を擧げやう。地下室には職工の洗濯室を設け、各自に戸棚及び洗濯盥を分有せしめ、新鮮なる清水を常に多量に使用せしめることが出来る方法を取つてゐる。職工は凡て是等の室を経て工場に出入するので、常に彼等に清潔を保たしむることが出来る。中央事務所は地下室にある、其處には完成せる諸機械の大倉庫と陳列室があり、其他傷病者治療部、並びに病氣、災害及び老齡に備ふべき職工保険に關する一切の事件を處理する事務所を有し、階下及び階上には種々なる營業事務所がある。其の中には出版部、特許事務所等がある。三階には職員食堂及び徒弟學校がある。また會社が其の使用人の慰安に對する特別の注意上、參考たるべきものは、常に其の業務時間中室内の温度、通風、洗淨及び他の

一般の便宜、安樂を具備せる完全な設備があるばかりでなく、酒保部等には最も能く意を用ゐ、酒保には約二千五百個の薬瓶を用意し置き、最低廉價を以て毎日使用人等に之れを賣却するので、アルコール性飲料の消費は大に減少するに至つた。其の他社會的方面の問題に關しても、種々なる漫遊及び旅行等の計畫を時々行ひ、各種遊戯の設備をも有してゐる。教訓的及び娛樂文學を有する最大規模の圖書館もあり、冬期には諸講演及び音樂會を講堂に於て催はすこととなつてゐる。

以上略記する所を以て見るも、ルウドウィツヒ・レーウエ會社の頗る完全なる設備を有することが解るであらう。嘗て米國の有名なる一雑誌は、同會社を評して『最良アメリカ式器具工場は今や獨逸にあり』と云つたこともある。

第十二章

獨逸商業の發達經過と趨勢

次に譯するは、獨逸ハムブルグ殖民大學教授ラートクン博士の筆に爲るものである。其の所論中往々吾人の意を得ざる事もあるが參考の爲め全文を揚げることにする。

商工業の急激なる進歩を爲し、他の國民と激烈なる競争を開始せし國民は、自ら其の競争者に對して惡感情を抱かしむるのが自然の趨勢である。日本の工業上に於ける長足の進歩は屢々他國民の猜忌心の爲めに非難攻撃を受けたてはないか。此の點に於て更に一層甚だしき非難を被つたのは實に獨逸である。『各國民の進歩發達は單に其の國民に福利を與ふるばかりではない、同時に他の諸國民にも其の恩澤を霑すものである』との古い眞理は、現時の如き各國民の競争の盛なる時代にあつては、

些々たる猜忌の爲めに屢々之れを輕視せらるゝに至る、是れ實に嘆ず可きことである。何となれば吾人が日本に於て見る如く、其の國內に於ける生産力の増加は購買力の發達を意味するもので、輸出額の増加は他國民に對する市場として一層其國家の意義を増さしむるものである。

獨逸の産業に於ける進歩發達は極めて最近の事で、其の源を獨逸帝國の建設に發するとの説は元より正鵠ではない。何となれば獨逸は昔より綿織物、毛織物、鐵器、革細工、硝子、磁器、紙類等を他國に輸出せし額は極めて多く、且つ建國以前の事に屬するからである。但し其の經濟力の充分なる發達は經濟及び政治的狀態の如何に歸することは勿論の義である。即ち經濟、政治兩方面の調和統一の結果であること猶ほ明治年間に於ける日本の状態に似てゐる。この同一の機會に於て獨逸も亦た其の偉大なる能力を發揮して、十七、十八兩世紀に於ける産業上の發達によつて世界他の大國民と比肩するやうになつたのである。

帝國の建設によつて獨逸は政治、經濟兩方面を統一したが即時に其の活動を現は

すことは出来なかつた。何となれば當時は他の諸國のやうに絶えず經濟上の恐慌があり、殊に其の最も重要な要素たる市場の價格に大動搖を來たし、隨つて商工業は一進一退の状態であつた。蓋し當時英國は勿論佛國及び他の小工業國（獨逸も亦其の中にあり）を通じて一千八百五十年（嘉永三年）に於て著しく經濟的發展を爲したが、一千八百七十四年（明治七年）以後は恐慌の時代で、延いて一千八百九十五年（明治二十八年）に到つた。其間多少の好況を呈せしは一千八百八十年（明治十三年）より一千八百八十二年まで及び一千八百八十八年（明治二十一年）より一千八百九十年（明治二十三年）に至る前後四五年間である。又北米合衆國の如きは非常なる天然の富力と歐洲の移住民によつて其の勞働力の進歩を爲したに拘らず、尙ほ一千八百九十四年より一千八百九十五年に至る外國との貿易額は一千八百八十二年より一千八百八十三年に至れるものゝ輸出額よりも多くはなかつた。尋いて一千八百九十五年以後、世界の經濟状態は著しき膨脹をなし、唯だ其間一千九百年及び一千九百七年の恐慌によつて少しく妨害を被つたのである。若し夫れは此の一般的膨脹の際に

於て、世界の重要な商工業國が果して如何なる地位を占めたるやに就き、各國の輸出額を比較する時は、吾人は殊に二個の著しき現象に接するであらう。即ち第一の現象としては獨逸の輸出額の著しき増加は既に一千八百九十五年に始まり、北米合衆國は一千八百九十六年より其翌年に始まり、英佛の兩國は一千八百九十九年より他の小工業國は一千八百九十六年及び一千八百九十九年より、又た東部及び南部亞細亞、米大陸の諸國及び濠洲も略ぼ以上と同時期に始まつたのである。第二の現象として認むべきは、以上各國に於ける輸出額の増加(外國貿易の全部に就いて)はただ何れの國も、獨逸に及ぶものゝないことである。今、まだ一般に市場の好景氣を呈せざりし一千八百九十年と最近(一九一〇年)とを比較する時は左の通りである。表は獨貨百萬麻を單位としてある。

國名	一八九〇年		一九一〇年		增加額
	外國貿易總額	特殊品輸出	外國貿易總額	特殊品輸出	
獨逸	八、一九五	三、三二七	一七、六一四	七、四七五	九、五一九
北米合衆國	六、九一八	三、五五〇	一三、八七二	七、一八二	六、九五四

英國	一五、三〇〇	五、三八四	二四、七四一	八、七八四	九、四四一
佛國	八、三三七	三、〇四〇	一〇、二二二	四、八〇五	一、八七五

以上の表が吾人に示すが如く、他の商工業國にあつても其の増加は著しいのであるが、然かも經濟上非常なる發達をなせし北米合衆國でさへも尙ほ獨逸に及ばないのである。英國の如きは其の數量に於て増加せるも、然かも増加の割合は遙かに減少してゐる。獨逸の輸出額は一千八百八十年より一千八百九十五年までは約三十億麻内外であつたが、一千九百十年には七十五億麻となり、更に一千九百十一年には八十億麻となつた。是れ實に工業國として獨逸の發達を明示するものである。

獨逸は従前より一千八百八十年(明治十三年)頃までは尙ほ原料品及び食料品、例へば穀物(ライ麥を除く)鐵礦、鉛の如きものを著しく輸出してゐた。又た嗜好品としては砂糖の如きは最も有名なものである。殊に其の輸出の最も甚だしかつたのは一千八百七十年(明治三年)以前である。又た此時期に於ける輸入物としては製油原料、紡績原料、銅、獸皮、毛皮其の他獨逸國內に於て生産せられざる羊毛、亞麻、大麻等である。然るに人口の著しき増加は、勢ひ食料品及び嗜好品の輸入をなす

の必要なるに拘はらず、此兩品の輸入が輸入全額に比して著しき増加を爲さざるは頗る注意する價值がある。即ち十年前の輸入額は總輸入額の約三分の一であるが現今にても十分の三以上には上らない。一千八百九十年には十五億麻であつたのが、今日でも約二十五億麻に過ぎない。是れ工業上の技術の大なる進歩が農業上にも大影響を與へて其生産額を増加せしめたのである。

殊に著しい現象は、産業上の發達が工業上に使用せらるべき原料品の輸入と製造品の輸出とを増加せしめたことである。即ち前者は一千八百九十年頃には輸入總額の約五分の二であつたが、現今に於ては其過半を占め、即ち十七億五千萬麻より四十七億麻の多額に登つたのである。又た製造品は粗製食料品を除きて、一千八百八十年頃は輸出總額の二分の一を占めてゐたが、今日にては三分の二以上に達し、即ち一千八百八十年頃には十五億麻のものが、一千八百九十年には進んで二十億麻となり、一千九百十年には更に進んで五十億麻となつてゐる。又た各國に於ける特殊工業の發達は自ら各國の間に交換の途を開き、即ち獨逸が他國より輸入せし製造品

の額は一千九百十年には約十八億麻の價格に達し、輸入總額の五分の一に當つてゐる。

獨逸對外貿易の發達が、工業上に於ける原料の輸入と製造品の輸出に存する事實は、又た其の一部を交通機關の發達に歸せざるを得ない。今ま同國の對外貿易先に就き一千八百九十年と一千九百十年とを比較すれば左の如くである。但し單位は百萬麻。

過經の達發業商

國 名	一八九八年		一九一〇年	
	輸 入	輸 出	輸 入	輸 出
歐 洲	三、五七八	三、二〇九	五、一九七	五、六二四
北米合衆國	八七七	三三五	一、二八八	六三三
自餘の亞米利加	四五二	一九七	九〇三	六二二
亞 細 亞	三三九	一七〇	八二八	三三二
亞 弗 和 加	一〇一	六四	四一八	一八一
澳 洲	八八	三五	一八六	六六
合 計	× 五、四四〇	× 四、〇一一	八、九三四	七、四七五

× 一八九八年の輸出入額には輸入に於て三億五千九百萬麻、輸出に於ては二億五千四百萬麻の貴金屬を包有してゐる其の結果として貨物取引は實際的に増加してゐるのである。

以上の統計の示すが如く、獨逸が貿易上に於て其の隣邦及び北米合衆國との關係は數字上に於て年々増加してゐても、之れを貿易總額より見る時は、寧ろ其の割合は減少してゐるわけである。即ち輸入の點に於ては八十二パーセントより七十二パーセントとなり、輸出に於ては八十八パーセントより八十四パーセントとなつた。之に反して、他の諸國に對する獨逸の輸出入は著しく増加した。尙ほ吾人は進んで次の如き事實を擧ぐる事が出来る。即ち是等の諸國に對して獨逸が寧ろ賣手よりも購買者の地位に立てることは、是等の地方より獨逸に對する輸入が輸出額より非常に増加せるを以て見るも明かである。該地方に對する輸出額は四億六千六百萬麻より十二億七百萬麻に増加せるも、其の輸入に至つては更に之より甚しく、即ち九億八千萬麻より二十四億四千二百萬麻となつてゐる。是れ實に獨逸工業の進歩發達が海外より其の原料を輸入するの必要あることを實際的に證明してゐるものである。但し獨逸工業の發達を單に輸出額のみによつて決定することは出來ぬ。吾人は更に進んで國內に於ける人口の増加と富の程度の發達とが如何に内地に於ける需要額を

増加せしめたかといふことを考へねばならぬ。

以上輸出の状態と關係して、茲に最も注意すべき點は、極めて主要なる地位を有する商品の變遷である。以前、獨逸は他の工業國と同じく織物業が盛んであつて、其の輸出額は年々増加してゐたのであつたが、現今に至つては他の輸出物のやうに著しい増加をしてゐない。即ち今を去る十年以前は總輸出額の十分の三を占めてゐたが、現今では僅かに十分の二に過ぎない。而して此の如き現象は又た他の工業國に於ても之を見る事が出来る。其の主なる理由は各國共に此の事業の勃興するやうになつたからである。併し獨逸の織物業は決して今日に於ても靜止の状態にをるのではない。何となれば紡績原料の輸入は一千八百八十二年には二十八萬噸であつたが一千八百九十五年には六十萬噸となり、一千八百九十七年には八十一萬噸となつてゐるからである。斯く原料の輸入が著しく増加したにも拘らず、之れに従事する職工は却て増加してゐない。即ち一千八百八十二年(明治十五年)には九十萬人であつたが一千八百九十五年(明治二十八年)には九十九萬人、一千八百九十七年(明治三

十年)には百九萬五千人となつてゐる。是れ實に企業の集中と器械力の發達によるものである。次ぎに吾人の述べんとする所は如何なる工業品が獨逸の輸出額を増加せしめたかといふことである。

産業上に於て總ての發展の基礎となるものは言ふまでもなく石炭と鐵とである。此の兩者を採掘し、或は轉用して器機類を製造することは一國工業上の發達をトするに足る標準となると共に、輸出國として其の國の能力を決定する有力なる要素である。獨逸に於ては鑛山業、金屬品及び器機類等の製造が著しく増加して來てゐる。一千八百九十九年(明治三十二年)以來、是等の輸出額は以前に比して二倍以上となつた。即ち以前は總輸出額は年々非常に増加した。随つて石炭の消費高の如きも著しく増加し、一千八百九十年より一千九百〇九年まで人口一人に付き其消費は千三百二十キログラムより三千三百五十四キログラムとなり、又た生鐵の消費高は同間に於て同じく人口一人に就き百キログラムより百九十二キログラムとなり、鉛は一人に就き二倍の増加となり、銅は三倍に増加した。

以上の如き金屬品及び器機類の輸出は現時の如き國際的平和的交通の時代に於て、殊に重要なものである。何となれば斯の如き商品は其の輸入國の生産力と富の程度とを發達せしむるには最も有力なる補助機關であるからである。現時各國民間に於ける經濟的競争が益々激烈となる時に際して、進歩發達せる國民の國際的交換、が常に吾人に向つて日常生活品及び嗜好品以外に器機類の如き生産上の補助品(單に粗製品のみではない、生産上直ちに使用せらるべき加工品)を著しく輸出するの傾向のあるのは殊に注意すべき事項である。尙ほ現時の國際的經濟現象を深く考察するにおいては、國民相互の經濟的競争は、其の後方に於て又相互の經濟的要求の尙ほ一層強大なるを示すものであることは、各國が多く保護關稅の障壁を有するに拘らず、相互の間に於ける商品の交換が年々増加するによつて之を知る事が出来る。

次ぎに獨逸の輸出品として最も重要な地位を有するは化學工業品であつて、其の輸出額は最近十年間に於て二倍の増加となり、總輸出の十二分の一より十分の一

に増加してゐる。抑も獨逸の工業及び其の對外商業上に於て、此の如き商品が重要な意義を有するに至つた理由は、其一部を獨逸が地下に有する天賦の賜たる石炭に歸することが出来るのである。

又た獨逸の國力發達に就いて、最も重要な要素とも云ふべきものは、科學の獎勵と合理的勞働とに依るのである。此の兩者が獨逸の特徴なることは、英佛の兩國人より吾人の屢々聽取する所である。例へば獨逸に於て最も有力なる商工業學校の所在地たる『シャルロットンブルヒ』なる名稱は、英國にては實に總べての補助材料による最新の研究を有する工業上の教育機關たる名稱に付けらるゝのである。

鑛山業中殊に重要な地位を占むるものは石炭採掘の事業である。一千八百九十年より一千九百〇九年に至るまでに其の従業者は殆んど二倍以上となつてゐる。即ち千八百九年には三十九萬五千人であつたのが一千九百〇九年には更に増加して八十萬四千人となつた。而して石炭採掘高の増加は更に著しく七億二千六百萬麻より十九億七千萬麻となるに至つた。最近、獨逸全國を通じて石炭の採掘高は（一九一

〇年には二億二千二百萬噸、即ち世界總産額の五分の一、歐洲大陸諸國の採掘總額の約二分の一以上を占めてゐる。而して之を英國に比すれば、尙ほ及ばざること約四千七百萬噸である。

其後獨逸は燐化鐵より純全たる鐵分を游離し得る方法を發見してより、其事業は大に長足の進歩をなすに至つた。即ち一千八百七十八年までは一年の産額三百萬噸以上にはならなかつたのに一千九百十三年には一千萬噸に達し、英國を凌駕すること約百萬噸である。其より一千九百十年まで漸次其の産額を増加し、遂に千四百八十八萬噸（世界總生産額の二十二パーセント）以上に及び英國を凌駕すること更に四百萬噸以上となつたのみならず、此の如き巨額の生鐵が他に輸出せらるゝは僅かに一小部分に過ぎないのである。殆んど大部分は國內に於て半製品又は全製品に加工せらるゝのである。尙ほ製鐵事業、其他の金屬品製造業が長足の進歩を爲した事は獨逸工業統計の明示する所であつて、今其の採鑛冶金、及び機械工業に關する統計を示せば左の通りである。

職 工	一八九五年	一九〇七年
動力	一、七五八、七一六人	二、九五七、二五一人
力	一、三三二、〇二一馬力	三、九九一、七〇三馬力

以上の統計は明かに獨逸の工業が極めて大仕掛て集中的經營であることを示すものである。此の經營によつて分業上の總ての利益と、經營上の連絡とが最も好都合に實行せられてゐる。而して一千九百十七年の統計表に於て、全人員の約四分の一は大工業(五十人以上を使役するもの)の部に屬すると共に、動力の殆ど十分の九も亦同じく大工業の範圍に屬するものである。又た一千九百十七年に於て大工業に屬する株式會社の名義上の資本は、殆んど四十二億馬(實際の資本は更に之よりも大なり)であつて、所謂獨逸に於ける工業上の株式會社の總資本の二分の一を占めてゐる。而して此種に屬する工業會社で一千萬馬以上の資本を有してゐるのが獨逸全國を通じて、實に其數八十に達してゐる。其他自餘の工業、大會社は僅かに二十三個である。其内の九個會社は化學工業に屬するものである。大工業の會社の内特に著名なるものは『クルップ』及び『ゲルセニキルヘン』『ボヒユメル協會』『グウテールホフ

ニユニグス・ヒユテール』『アルゲマイネ電氣會社』『シロメンズウインドハルスケ』等である。

近時工業發達の過程に於て、資本集中の傾向は各國何れも熾である、殊に獨逸は最も顯著なるものである。今其の工業に従事してゐる勞働者の數を示せば次の通りである。

	一八八二年	一九〇七年
一人より五人迄を使役する企業に従事せる者	三、二七〇、四〇四	三、二〇〇、二八二
六人より五十人迄を使役せる企業に従事せる者	一、一〇九、一二八	二、七一四、六六四
五十人以上を使役せる企業に従事せる者	一、五五四、一三一	四、九三七、九二七

以上の統計によれば、大工業の方面は、以前に比して其の數三倍以上となつてゐる。中位の工業發達も亦茲に注意すべき價值がある。而して此の種の經營に於て最も好都合なものは、最近電氣學の發達によつて急激に進歩したる電氣力の應用方面にあるのである。即ち其の數は次ぎの通りである。

年次	電氣會社の數	電動力
一八九四年	二四八	五、六三五馬力
一九〇〇年	六五二	一〇六、三六八
一九〇八年	一、九七八	八九六、九一〇

對外輸出と内國の需要とは急激なる電氣事業の發達を促がし、其の價格は一千九百十年に於て一億六千萬麻に達した。之を英國の七千萬麻に比すれば多大の進歩と云はざるを得ない。(電線の輸出額は此の中に計算しない。併し同品の産額は獨逸にては四千七百萬麻、英國にては四千五百萬麻である。)

獨逸に於て見るやうな職業上の統計は他の大工業國に於て見る事が出来ない。従つて其の比較をすることも出来ないわけである。併し勞働者の數に就いて比較する時は次ぎの通りである。

國	勞働者	千九百四年來の増加
獨逸	六、三三八、三一九	七六七、〇六四
英國	四、四八八、七七四	二二二、九八三
佛國	三、九九九、四〇二	三三七、二三五

(注) 以上は一九〇七年の調査によるものである。

獨逸の工業發達を正當に理會せんとせば單に以上の證明ばかりでなく、更に進んで他の方面よりも之を觀察することが必要である。即ち現時、獨逸帝國が有する領土内に於てナポレオン戦争、即ち一千八百十六年時代の人口は約二千五百萬人であつたが、現今では同一面積内に既に六千五百萬人以上を有するに至つた。斯くして獨逸の任務は此の増加せる人口に向つて單に衣食の資を得さすのみならず、同時に其の生活状態を改善し、彼等の幸福と安寧とを得さしめねばならないのである。此の任務は獨逸國の力の及ぶ限りを盡して、生産状態を完全に組織せしめるより外にはないのである。其は人口増加の方面より來る壓迫は非常に甚だしく、爲めに獨逸は過去の十年間即ち一千八百十年頃より多數の移民を海外に出したが、此の海外移住が顯著なる意義を失ふやうになつたのは一千八百九十四年以來のことである。何となれば製鐵事業の如き或は建築事業の如き勞働力要求の甚しき結果は從來人口の自然的増加の結果として海外に出てたるものを過去十五年間に甚たしく減少せしめたのみでなく、却つて獨逸國內に向つて他方面より勞働者の移住し來る者も甚だ

多くなつて來た。今最近の調査になる獨逸國民の職業別を示す時は左の如くである。
 (獨逸國民の職業に就いて明白なる概念を得せしめんが爲めに全人口を經濟的生産の見地より三區分し、千人を以て單位とした。)

種別	一八八二年	一九〇七年
農業、園藝、牧畜、林業及び漁業	一九、二二五	一七、六八一
工業及び鑛山業	一六、〇五八	二六、三八七
商業及び交通業(但し旅宿業を含む)	四、五三一	八、二七八

以上第二及び第三の分類に屬するものは獨逸國內に於て増加せし人口を吸集したのみではなく、これと同時に經營方法の技術的改善及び農業上の工業的副業が消滅するやうにすなつたのである。尙ほ都市(人口二千以上)の住民は獨逸全國を通じて一千八百七十八年(明治四年)には一千四百八十萬に過ぎなかつたが、一千九百十五年(明治三十八年)には三千四百八十萬の多きに達するやうになつた。此事實は明かに工業の進歩發達が如何に人口を都市に集めたかといふことを示すものである。獨逸に於ける工業品の需要額増加と大都市及び工業地に於ける人口の集中とは、

殊に交通機關の發達を促すやうになつた。即ち獨逸鐵道の延長里程は軌道鐵道及び市街鐵道とを除いては一千八百八十年(明治十三年)には三萬四千キロメートル以上にはならなかつたのであつたが、一千九百〇九年(明治四十二年)には殆んど六萬一千キロメートルとなつた。又積載噸數は一キロメートルに就き百三十五億噸より殆んど五百三十億噸となつて約四倍に増加した。又た之と同時に水運の方面殊に海運業も著しく發達するやうになつた。即ち獨逸の海路輸物は一千八百八十年には全輸出額の五十六パーセントであつたが現今では全輸物物の四分の三である。これ等の輸物物は單に獨逸の諸港より輸出せらるゝのみでなく又たアントワープの如き他國の港よりも積載せられてゐる。尙ほ世界の海上交通に於て、獨逸の國旗は尤も有力なるものである。即ち今より四十年前には獨逸諸港に往復する船舶中獨逸船舶は其噸數の半分を占めてゐたのであつたが、現今では其三分の二を占めるやうになつた。

獨逸の汽船は一千八百八十一年の初期には、其の總排水量噸數二十一萬六千噸で

あつたが、一千九百十年(明治四十四年)の初期には二百三十九萬七千噸に増加した。そして是等の船舶の四分の一は何れも五年未滿のもので十五年以上を經過したものは僅かに其の五分の一であつた。以上の事實は獨逸商船の輸送能力が極めて大なることを最も明かに證明するものである。

以上の事實が相合して獨逸工業の非常なる發達を來たしたる事は英佛人の屢々言明する所である。獨逸の商品が廉價な粗品であつて英佛兩國と競争する事は出來ないと言ふ説は今日の何等の價値もない言である。

獨逸人の工業上に於ける努力も、彼等が充分なる富を有するに非らずんば決して正當なる効果を見る事が出來ないのである。獨逸國富の増加は明かに企業上に投ぜられたる生産資本の増加に於て、或は工場及び機械等の設備に於て、或は鑛山の如き或は鐵道及び造船事業等に於て之を知る事が出來る。又火災保險の事實が吾人に向つて示す如く、單に家屋資本の價格のみでも、最近にては年々二十五億麻の増加となつた。(獨逸にては總べての家屋は火災に對して保險せられてゐる。)

國民の富力は、之れを英佛二國に比するに、無職業者の財産に於て殊に發達の程度が低いのと共に所得税に於ては土地に對する課税の收入よりも、勤勞所得の收入の著しく増加してゐる事實を見ることが出來る。殊に最近十年間に於て勞働者の賃銀は何れの國でも年々騰貴しつゝある食料品の價格よりも著しく増加の傾向となつて一千八百九十年來は約五十パーセント以上となつた。

貯金の状態に至つては屢々外國人の驚嘆する如く、殆んど列國に於ては見る事が出來ない程である。そして是等の貯金は零碎の資金を有する一般人民の懷中より集めたものである。單に貯金者の數に依つて見ても、一千九百二年より一千九百九年間に於て千六百萬人以上より二千六百萬人以上となつた。

今日の如き經濟的競争の激烈なる時代に於て、工業上の大なる活動を爲すには、國內に融通してゐる資金のみでは不足なる事は明かなる事實である。然かも獨逸の資本は非常なる範圍に互りて海外に放下せられてゐる。即ち一千九百年より一千九百十年迄海外に於て獨逸人の有せし有價證券の價格は五十七億千七百萬麻である。

以上の外倫敦に於て獨逸人が巨額の有價證券を有する事は明白なる事實である。

其他伯林の取引所が世界に於て最も大なるものゝ一つである如く、此取引所に於て取引せらるゝ有價證券の種數は一千八百九十年より一千九百十一年迄の間に於て一千より二千以上となつた。外國人にして獨逸の大都市を訪問したものは單に伯林のみでなく、又たハンプルヒにてもキヨルンにてもフランクフルト、アム、マインにてもミュンヘンにても到る所、公私の建物及び交通機關等に於いて著しく國富の増加した状態を認むる事が出来る。斯の如きは又各都市に於ける所得税の收入に就いて之を認むる事が出来る。例へば普魯西にては最近八年間に於て所得税は六十一パーセントの増收となつた。

要するに獨逸の經濟的生活は各方面に亘りて著しく且つ永續的に進歩してゐるが之れが基礎となるものは、實に同國工業の進歩である。想ふに斯の如き進歩は單に偶然又は一時の好運と云ふべきものではない。寧ろ科學的に其の基礎を築き且つ合理的に又た充分自己の目的を自覺努力したる結果である。

第十三章

盛觀を極むる伯林取引所

現時に於て世界最大取引所の一に數へらるゝ伯林取引所は、其の創立當時には極めて微々たるものであつた。併し伯林乃至全獨逸國に於ける商工業が發達して取引所の規模が擴大するに伴れ、漸次今日の隆盛を見るやうになつたのである。

伯林取引所が初めて現在の位置に建設せられてから今日に至る迄の星霜は僅かに五十年に過ぎないのである。然るに現今では物品取引所は之を他に分離移轉せしめ、現存の建設物は全部之を有價證券取引の用に供するやうになつた。一千八百六十九年一月二日の伯林取引所の相場表は僅に百十四點であつたが、僅か五年の後乃ち一千八百七十四年一月二日起業熱時代に於ては、其の相場表は千〇十七點を列記し、現今では公表株類の數實に三千〇九十五種に増加してゐる。此の三千九十五種の株券中、百四十九種は、獨逸及び普國國債券、二百六十二種は獨逸國都市の市債券、

並に毎週二回のみ公表する七十種の市債券及び二百五十三種の外國株券である。

一千六百九十六年以來伯林在住の羅紗絹布商及び雜穀商の兩組合は極めて小規模のものであつたが、併し定期取引集會所を所有してゐた。一千八百〇〇年始めて大規模の集會所を建設し、一千八百六十三年更に現今の取引所を建設したのである。現今の取引所は長さ百〇五、幅二十七、高さ二十米突の三大室を有し、其の面積の廣きこと世界第一と稱せられる。構内は株式及び元物品の兩取引所がある、之れに加ふるに各種の會議室、所員事務室、書庫、圖書閱覽室、食堂及び新聞記者室を備へ、而して新聞記者室には各新聞社の通信員百二十四名其の報告に従つて所内の取引狀況を公衆に紹介するのである。電報室よりは世界の各國に對し、日々電報を發し、其の發着數は一ヶ年五十萬以上である。即ち營業期間中一日凡そ二千に該當してゐる。

取引所の建設物は伯林商業團の所有であつて、取引所内の取引所は伯林商業會議所に附屬し、政府は只だ之を監督する許りである。取引所の監督機關は政府の委員

であつて、同委員は取引所の取引に關して發布せられてゐる法律、命令の遵守を監督するのである。取引所の直接指導の任に當るべきものは三十六名の委員より成立してゐる取引所幹部である。其内二十七名は取引所參加員より成り、残り九名は商業會議所會員中より選出せられるものである。取引所の經費及び事務員の進退に關しては商業團の長老が之を處理してゐる。株券及び商品相場の公定に參加すべき仲買人は、地方長官が之を依囑し、又は政府委員が之を整理するのである。

株式取引所の取引に新株券を新たに許可するには、特に一定の委員會を組織する。即ち評議委員會と稱するものである。此の委員の半數は、即株券取引所の取引に關係のある職業を持たぬものに限られてゐる。一千九百十一年には同委員に依つて伯林取引所の取引及び公表に二百五十八種の新株券を許可した。之れが評定を爲すに先き立ち當該株券に關し各方面に於て精密なる調査を爲さねばならぬのである。株券取引の法規上の基礎は一千八百九十六年六月廿二日發布の取引所令である。同令は一千九百〇八年五月八日の發布改正令によつて多大の變更が加へられたのである。

が、特に鑛山及び製産業の株券に對し、取引所の定期取引の禁止を一部解除した如きは其最も顯著なるものである。又た仲買人に關する規定は細則に於て充分に定められてある。

取引所の取引が如何に巨大なものであるかといふことは下の事實を見れば克く之れを了解することが出來やう。即ち一千九百十一年度に於て取引所入場券を交付した人員數三千百五十七人、其内九百二十四人は各々獨立の取引者九百八十四人は銀行及び會社員、百二十三名は使僕である。尙ほ此の他通信員に對し百二十四、新聞配達人に對し二十二の入場券を調製した。それゆゑ總計三千二百三名の人員が取引所の定期の出入者である。フランクフルト及びハンブルヒ取引所に於ても同じく稍々類似したる盛大なる取引が行はれてゐるのであるが、眞に此の如き巨大なる取引の日々行はるゝ取引所は、伯林取引所を措きては他に獨逸國中に求むる事の出來ないのは勿論である。

第十四章

東亞金融界の一勢力たりし獨逸銀行

一千八百八十年の初期、獨逸外國貿易の發達及び同國商人等が大取引を爲した歐洲以外の諸國との貿易の増進に伴ひ、重要な地位にある同國金融業者及び政府と密接なる關係を有せる人々が相諮つて支那に一個の自國銀行を設立し、一は以て獨逸貿易業者をして獨逸の金融機關を利用するの事を得せしめ、以て其の金融上の發展に資し、一は又從來唯一の信用す可き英國の金融機關殊に香上銀行にのみ頼る不便を免かれしめやうとの議論が起つた。又之に依つて當時増進しつゝあつた自國資本の運用の途を開かうとの意志もあつたのである。それは當時東洋に於ては農、鑛、鐵道等幾多事業の發展上早晚外資輸入を必要とするやうな形勢があつたからである。且つ一般東洋諸國に於て常に見るが如き金利の高率及び其他種々有利なる條件は早晚この事業に成功の月桂冠を戴かしむる事が出來、隨つて獨逸の資本も此の世

界的事業に與かるべき資格を有してゐたからである。此の計畫を成就せしむるには幾多の困難を嘗め、デスコント割引會社の取締役の主管してゐた銀行の「シンヂゲルト」及び本計畫に對し最も熱心なる賛成者で當時北京駐紮の獨逸公使であつたフオンブランドを初め責任ある政府當局者との間に年餘の長きに亘り商議を重ねたる結果、漸く一千八百九十九年二月十二日に獨逸銀行の創立を見るやうになつた。

該銀行は上海に設立せられたのであるから勿論一外國銀行には相違なかつたのであるが、併し其の定款第二條に基き獨逸株式會社といふやうな性質を有し、當然獨逸の現行法に遵據す可きものであつた。該銀行は資本金五百萬上海兩を有し之を五千株に分ち、一株の額面を一千兩とし、其の引受株主は左の通りであつた。

デスコント割引會社取締役	八百五株
獨逸銀行	五百五十五株
エス、プライシユロデル	五百五十五株
伯林貿易會社	四百七十株
商工銀行	三百十株

メンデルソン會社	三百十株
ロバート、ワルシヨエル會社	三百十株
シーハンドラングス、ソジエタート總支配人	百七十五株
以上伯林	
フランクフォルト、アム、マインの「シエコアエスエツチステルン」	四百七十株
フランクフォルト、アム、マインの「エム、エー、フアー、ロスチャイルド、シヨーン」	三百十株
ミュンヘンのバイエリツシエ不動産抵當爲替銀行	百七十五株
漢堡北獨逸銀行	三百八十株
コローンのオツペインハイム、ユン、シエ會社	百七十五株

第一回拂込は額面の四分の一で、爲替相場は一兩に付き四麻五〇と定められた。

該銀行の目的は定款第二條に規定してある通り亞細亞に於ける銀行一般の業務及び獨逸間の貿易の進歩發達を圖る爲めてある。また他方に於て銀行は自己の計算を以て商品販賣業を營むこと併し本國に於ては預金事務及び手形交換業にのみ従事することし、その本國に於て商品販賣業を禁止するは畢竟本國にて自己の顧客と競争を爲すことを避くるがためである。

銀行業務執行者は少なくとも二人以上でなければならぬ規定で、戦前までは上海のハイン・フヒゲ氏伯林のクルトエリット氏及びエミル・レーデル氏、漢堡のエム・ダブリュ・コツシエン氏、香港のリツヒヤード・チメルシャイツド氏、カルカッタのマクグットシユツケの六氏であつた。理事は十二乃至二十五名より成り互選を以て頭取を選定し皇帝陛下の裁可を受くる事としてあつた。

上海に於ての開業準備、取引先の取極めや第一回拂込金百二十五萬上海兩の送達等の爲めに創立最初の一年の残餘を費した。それ故實際の業務は一千八百九十年の一月一日から開始せられたのである。業務開始當時の状況は全然良好ではなかつた。何となれば當時銀價の變動甚だしく、爲めに銀貨本位の存立してゐない諸國との貿易は勢ひ不確定となつたからである。併し該銀行の取引は獨り支那に於ける歐洲商人のみならず、尙ほ進んで清國官憲と良好なる取引關係を結ぶ事が出来た。それ故同年末には早くも天津に支店を設けることゝなつた。然るに其の翌年、銀價の變動は尙ほ止まらず下落又た下落の爲め少なからざる困難に遭遇したのである。即ち

一千八百九十一年の平均銀價は四十五片であつたが一千八百九十四年三月になつては更に甚だしく下落して、最低價となつた「オンス」價格は實に二十七片であつた。其結果として一般商業社會は非常なる打撃を蒙り、數個の有名なる會社は終に破産或は閉店するの止むなきに至つたのである。獨亞銀行も亦た此の一般的不景氣の影響を受けたのは已むを得ないことである。即ち初年には二分五厘の配當を爲したが一千八百九十一年度及び一千八百九十二年度の兩年には同様の配當を爲す事も出来なかつた。然るに一方に於て漸次爲替手形貴金屬屬荷爲替等の業務を擴張したるが爲め、幾分か此の不景氣の影響を挽回する事が出来た。

第一回株金拂込募集以後に暴落した銀價償却及び擔保物價格の變動によつて生ずべき損失に備ふる爲め、一千八百九十三年の利益金の内より減價償却勘定の設定を決議した。これ即ち一千八百九十五年以後減價償却整理基金として世に知られてゐるものである。初め此の基金に充當せられた金額は三萬圓であつたが、其後漸次増加して一千九百十年の貸借對照表には三十七萬五千九百四十二兩九八を計上した。

一千八百九十四年及び一千八百九十五年の商況回復に伴ひ銀行の取引高も増進して來た。即ち其の配當率は漸次増加して一千八百九十三年の五分、一千八百九十四年の七分、及び一千八百九十五年の八分等に徴するもよく此間の消息が解るであらう。

一千八百九十六年に於て同銀行は其の業務上に一新時期を開いた。それは初めて公債發行の業務を引受けたことである。即ち其の前年清國政府と交渉し、遂に一千六百萬磅の政府五分利付を香上銀行と半額づゝ引受くる事となつた。次いで一千八百九十八年に再び同額の第二回の四分五厘の公債を引受けた。此の圓滑なる協力は一千八百九十五年七月廿七日香上銀行と獨逸銀行團を代表してゐる獨亞銀行との間に締結せられた協約の結果である。此の協約には其後將來の借款の爲め、印度支那銀行を以つてその代表者としてゐる佛國銀行團及び萬國銀行を以て支那に於ける代表者としてゐる紐育の四個の銀行よりなる米國銀行團もこれに加入した。

同銀行は尙ほ漢口及び天津に於ける獨逸殖民地會社設立に關係し、更に其活動の範圍を擴張した。獨逸帝國は該兩市に於ける獨逸貿易居留地の敷地に關し支那政府

と協約を締結し、其の取得したる敷地を該銀行へ交付し、且つ之を右の二個株式會社へ讓渡す權利を認めた。此等二個の會社は各資本金一百萬麻を以て設立せられ、銀行自ら大部分の株を引受けたのである。また支那に於ける事業に熱心なる獨逸の商店會社も其株を引受けたものが多かつた。兩會社の發展は順調にいつて、天津の白河及び漢口の楊子江の沿岸工事を終了した後、土地修繕工事を爲し道路をも開通し、敷地賣買に着手して兩市に獨逸市街を建設した。然るに一千九百〇四年に兩社とも解散し漢口の殖民地會社は一千九百十年に閉店することゝなつた。

今同銀行本來の業務の經營法如何を見んに、其の一千八百九十六年乃至一千八百九十八年間に於ける業務は頗る好調に進歩した。即ち一千八百九十六年には伯林及びカルカッタに支店を設置したが、前者は遂に銀行業務の一般方針を定むる場所として必要を認められ、後者はカルカッタの支店開業より資本の必要を感じ茲に新たに株式の拂込を行ひ同年八月一日總株式の半數に對し其殘餘未拂額七割五分を拂込ましめた。該銀行の清國の業務は頗る隆盛となり、一千八百九十五年に平均1/8乃

至2/8「パーセント」であつた日歩は、一千八百九十六年には6/8乃至7/8「パーセント」に昇り、次いで一千八百九十七年には7/8半乃至1「パーセント」にまで進んだ。斯くの如くにして一千八百九十六年の利益の如きは、實に一割の配當以外に株主に對し拂込株金に對し一割二分の特別配當を行ひ、銀貨低落の爲めに受けたる彼等の損失を優に償つたのである。

また同銀行は漢口の殖民會社設立に關聯し、該會社の業務取引に便にするが爲め、同市に同銀行の代理店を設置したのであつたが該會社の閉店後はその事務を繼續することとなつた。一千八百九十八年には青島の膠州灣に新たなる代理店を設置し、其後幾何もなく業務發展の結果之を支店とした。一千九百年には南清商業の中心地たる香港にも支店を設立し、それが爲め再び株式拂込の必要を生じ、殘餘の未拂株金全部を拂込ましめ、茲に始めて全株百萬麻の拂込を終つたのである。此の間數年間の配當率は一千八百九十七年が六分、一千八百九十八年が一割、一千八百九十九年が六分、一千九百年が七分であつた。

一千八百九十九年には該銀行の管理の下に山東鐵道及び鑛山の兩會社が設立せられ、その資本金は前者が五千四百萬麻、後者が一千二百萬麻であつた。抑も兩會社設立の目的は、膠州灣の背面地方となつてゐる山東省に於いて獨逸帝國に譲られた租界を利用せんとするにあるのである。山東鐵道會社は青島より濟南府に至る鐵道を建設し、別に博山に支線を設け、良好なる結果を得ることが出來た。會社の普通株及び創立者の株は一千九百〇二年及び一千九百〇九年乃至同十年に廣く市場に提供せられ、今では銀行は創立者の株の一部分を有してゐるのみである。鑛山會社は今日に至るまで其業務上満足なる成績を擧ぐる事が出來ない爲め未だ株式發行を敢てしないのである。

北清事件鎮定後、清國內地の状態が著しく發展して、一千九百年に及んだ。一千九百〇一年九月七日最後議定書の調印を終り、之れが爲め清國は各國に對して償金四億五千萬海關兩を支拂ふこととなつた。最初の數年間に於ける年賦金は、上海駐在各國任命の財務委員を通じて支拂ふこととなつたのであつたが、上海の獨亞銀行

理事ビュース氏は埃太利及び獨逸の委員に任命せられた。然るに其後償金支拂法が變更せられ、清國政府は直接各國政府に支拂ふこととしたが爲め、獨逸及び埃太利に對しては常に上海の獨亞銀行支店を経て支拂ふこととなつたのである。

此の間に銀行は、着々として進歩發達の途に就きつゝあつた清國貿易に對する金融機關として大に盡力し、其の經營の好しきを得たが爲め、銀價の暴落尙ほ止まざるにも係らず、營業の成績は實に良好であつた。一千九百〇四年の日露戰爭に際しては、清國は中立を守つたが爲め、同國の貿易は著大なる影響を蒙らなかつた。只だ僅に北部支那及び滿洲の貿易が戰爭當時に於て影響を被つたのみであつた。一千九百〇四年十月には山東省首府濟南府に代理店を設けた。此の如く行運の發展業務の増進は從來の資本を以て満足する事が出来なくなり、業務の増進は更に増資の必要を生じ、一千九百〇四年六月二十八日の總會に於て資本金を増額して七百五十萬上海兩とする事に決定し、新株は額面百兩に對し百十五兩を以て發行し、一兩に付き二兩五〇片の計算とし、其の募集を銀行「シンヂゲート」に引受けさしめ、第一回

拂込額面四分の一は其割増金と共に拂込ましめ、割増金總額三十一萬四千四百三十九兩六二は之を積立金に繰り入れる事とした。

一千九百〇五年に同銀行は、一千九百〇五年四分利付日本公債及び第二回發行の四分五厘利付公債發行に關係し、又た香上銀行組合と共同にて一百万磅の清國政府五分利付公債をも引受けた。

一千九百〇五年七月二十一日に北京に代理店を設け、同年十一月一日に横濱に支店を設けた。此の支店設立は日本にある獨逸の諸會社から再三の懇望によつて出来たのである。次いで一千九百〇六年五月に神戸に支店を設けた。此の兩支店は共に日本諸銀行との激しい競争の爲めに大に困難し、爲めに業務上の利益も亦た多くはなかつた。カルカッタ支店は、其營業成績が常に動搖するのを免かれなかつたが、これは主として印度の商況如何に基因するので、印度の商業はその年の收穫如何に依つて大なる影響を受けるのであるから、隨つて該銀行も亦收穫不良及び惡疫の影響を蒙ることが一再ならずあつたのであつた。併し一方にては益々清國諸支店に對

し同行は樞要缺くべからざる補助者であつた。これはカルカッタ支店が清國と印度間にある夥多の銀行事務を手中に蒐集する事が出来たからである。一千九百〇六年六月香港及びカルカッタ間を連絡する緊要機關として新嘉坡に支店を設け、又同年九月一日に漢堡に支店を設けた。此の漢堡の支店は後ちに至り、東部亞細亞の顧客たる獨逸大商人の漢堡にある内地支店或は事務所と密接なる關係を結び、尤も必要なる機關となつたのである。是れ等の新たなる機關及び支店の設置は亦もや増資の必要を促し、一千九百〇六年一月十五日に最新發行株式に對する殘餘の拂込を爲さしめた。此の發行株は同年市場に其の賣買を交付した。勿論第一回發行の舊株は一千九百〇四年に既に株式取引所に上つたのである。千九百〇一年より一千九百〇六年に至る間の銀行の營業成績は其の配當率に依つて知る事が出来る。即ち一千九百〇一年—七分、一千九百〇二年—九分、一千九百〇三年—一割、一千九百〇四年—一割、一千九百〇五年—一割一分、一千九百〇六年—九分であつた。一千九百〇六年同銀行は獨逸政府の許可を得て、獨逸膠州灣及び清國の外國租界租借地内に於

て同行發行の紙幣を流通せしむることとなつた。紙幣は兩と地方貨たる弗の二種あつて、青島、上海、漢口、天津及び北京で發行せられた。この發行紙幣の一般の氣受は甚だ良好で、一千九百〇七年末には四十四萬七千七百七十四兩六十四の流通を見、一千九百十年末には兩と弗の兩種の紙幣流通額は實に一百三十三萬三千二百二十六兩十九に達した。

一千九百〇六年に獨亞銀行盤谷株式會社は暹羅商業銀行の株三十五萬「チコル」を引受けた。委員としては盤谷派遣の獨亞銀行の一理事が同銀行を代表して暹羅商業銀行取締役會の一員となつた。暹羅銀行の初年の配當率は一割一分で、次年は七分五厘と云ふ好成绩であつたにも拘はらず、同行の内部の實際的狀態は之れに伴はず、遂に一千九百〇八年獨亞銀行は同行との關係を絶つことになつた。後ち一千九百十年四月に至り再び同行と關係を結ぶこととなつたが僅か一年にして又たく關係が斷絶して了つた。

一千九百〇七年には、清國の商業は全く從來と反對の狀況となつた。即ち過去數

年の市場好況は尙ほ繼續するだらうといふ豫望に基き、各商家は何れも争ふて大量の貨物を仕入れたのであつたが、金融は之に伴はないのみならず需用は大に減少した。それがためこれ等の過剰な商品は徒らに市場に堆積することゝなつた。後ち銀價は俄然暴落し次いで米國商業の恐慌の影響を受けて清國の商業は全く行惱の姿となつたのである。實際上總べての會社商店は清國重要輸出品の非常なる低落の影響を被り、其基礎薄弱なる者の多數は其が爲めに倒産するの已むなきに至つた。同銀行も一般の不景氣の影響を受けたのであつたが、尙ほ八分の配當をする事が出来た。一千九百〇七年後も亦多くの支拂の停止などがあつて實際一千九百十年迄は一千九百七年の恐慌の影響の餘波は尙全然消滅する事は出来なかつたのである。其の後景氣の漸く回復せんとする時、恰も新嘉坡に其の端緒を發し次いで上海其他に波及したる護謨株の非常なる投機が起り、之が爲め市場の回復を妨げ、其結果遂に護謨株の暴落となり上海市場は一時擾亂し、それが爲め遂に重要な數個の支那銀行は破産するやうになつた。然るに幸ひにも外國銀行の調停の爲め市況は速かに回復する

事が出来た。即ち市況の回復を計る爲めに外國銀行は上海道臺に六百五十萬兩を委託したのであつた。其内百五十萬兩は獨亞銀行より支出したものである。

此混亂の期間に清國中央政府は數個の大借款を締結した。即ち一千九百〇八年一月十三日は天津浦口間の鐵道建設のため五分利付五百萬磅の借款が協約せられた。元來獨亞銀行は斯かる業務の爲めに設立したのであるから獨逸「シンジケート」の代表者として同借款の六割三分を引受けたのである。残り三割七分は英國の「シンジケート」の引受けとなつたのであつた。一千九百十年九月に同じ目的の爲めに第二の借款四百八十萬磅が成立したのであつたが、此の借款に對しては僅かに三百萬磅の發行をしたのである。

同年五月淇縣に於ける鐵道建設の爲め、清國政府と獨英佛米共同の「シンジケート」の間に借款の協議が開かれ、獨逸「シンジケート」即ち天津、浦口間の鐵道建設借款に與りたると同一の「シンジケート」は、他各國「シンジケート」と同様に借款額の四分の一を引受けることゝなつた。現在の協約に依れば同借款額は六百萬磅であ

つて是れは一千九百十一年既に發行済となつた。尙ほ同條件の下に追加借款額四百萬磅を同協約に於て定めた。

今此の鐵道借款に關聯して、獨亞銀行の管理の下に一千九百〇三年に創設せられた獨逸支那鐵道會社は、鐵道材料購求機關といふ目的の下にて起つたものであつたが、借款協約條件に依れば、鐵道の或一部分の材料を外國に購求すべきこととなつてゐる。天津浦口間の鐵道建設に關しては、同會社は當時既に其の業務に従事してゐた。又た湖北の鐵道に關してもやはり當時同一の業務を爲す準備をしてゐたのであつた。

一千九百十一年四月に第三回の借款が前述の諸國の「シンジケート」と清國政府との間に協議せられ、引受額の割合も亦た前と同じで、借款額一千萬磅、利率五分であつた。此の借款の大部分は清國通貨の改正及び統一的鑄造貨幣の制定に供し、殘餘は専ら滿洲の農工業の發展に利用するものであつた。

一千九百十年に於ける同銀行發展の一部分として次の一事は注意すべきものであ

つた。即ち同年一月廿四日獨逸大藏大臣は膠州灣にある獨逸の保護地及び天津漢口の領事館區域敷地を抵當として、抵當付債券發行の權を銀行に許可したることである。該事務を適當に處理する爲めに、特に抵當部なるものを青島に設置し、一千九百十一年四月に此の事務に關する規則に對して獨逸政府の認可を得た。

一千九百十一年三月廣東に支店を設立した。是れ從來香港に集中してゐた商業の大部が漸く廣東に移つて南清の大會社の多くが同地に事務所を有するやうになつたからである。

銀行各支店の設備の不完全なる事及び適當なる營業所を得ることの非常に困難なる事とを經驗してから、數箇所を中心として銀行自身にて營業する必要を生じたので、上海橫濱に建物を購求したが横濱のは元の露清銀行の建物である。次いで香港にも同様の建物を買つた。又地方にては漢口、北京、青島、天津、濟南府に新らたに事務所を設置した。以上は大戦前に於ける獨亞銀行の歴史の一斑である。

第十五章

大戰前に於ける獨逸殖民地の發展

國內に於て各種の事業に成功した獨逸は、更に殖民事業に於ても近年大なる發展を爲した。戰前に於ける獨逸は、其の母國に比して約五倍大の殖民地を有してゐた。大戰後に於て獨逸は多くの殖民地を失つたのであるが、今戰前に於ける獨逸の殖民地の狀態及びその殖民政策の如何なるものであるかを示さんが爲めに、獨人パウ・ロイドウツイン博士の筆になる一文を譯述して本章に收める。以下は即ちそれである。

現今に於ても殖民地は尙ほ之を內的殖民地及び外的殖民地に區別してゐる。內的殖民地は近時の學理的研究の結果、殖民政策の範圍の外になつてゐる。吾人の主論は殖民政策の専門家たるゴットフリート・ツオルス教授が殖民地の一般的定義としてゐる『殖民地は世界的經濟及び世界的政策を遂行する目的の爲め、國家が本領土

以外に有する行政上の領土を云ふ』との意義に基くものである。

殖民地の種類を區別することに就ては今日最も議論のある所である。殖民地は單に移住民の爲めに設けたものであるか、或は他に之を利用する爲めのものであるか、この二個の區別は英人ゼームス・ミルの創意である。此の基礎の上に築かれたる現代殖民地の經濟的區分は次ぎの通りである。

- (一) 移住的殖民地は本國より殖民するもの爲めに設けられしものにして、獨逸の南西亞弗利加の如し。
- (二) 栽培的殖民地は本國よりの殖民者は單に企業家の地位に立ち、土人は之に對して勞働者の地位にあるものなりとす。
- (三) 土人の栽培的殖民地は獨領トローゴの如く主として土人自身によりて經營せらるるものなりとす。
- (四) 商業的殖民地。
- (五) 殖民的支持點、獨領膠州灣の如きもの。

以上の分類は總へて現時の殖民地に向つて適用せられない、何となれば獨領東部亞弗利加の如きは商業的殖民地、栽培的殖民地及び移住的殖民地の三種を兼ね、カメルンは商業的殖民地であると共に栽培的殖民地であつて、尙ほ同時に本國より移住者の栽培的殖民地となつたからである。佛國では商業的殖民地に兼ねるに栽培的なるものに對して利用的殖民地と云ふ名稱を付けてゐる。

以上、經濟上よりの區分と共に又法律上から之を區分したものがあつて、即ち次ぎの通りである。

(一)本來の殖民地は其程度の如何を問はず、總べて自治制を有するものを包括す。即ち膠州灣を除きたる自餘の獨逸殖民地は總べて此の部類に屬するものなりとす。

(二)保護領は一方にはザンジバルの如く主權者を有する國家が外國保護の下に支配せらるゝものにして、他方には殊に英人の解釋する所にして、其の母國に全く附屬せる君主專制の國家となす、即ちベツトシユアナランドの如し。

(三)勢力範圍は隣國との協定によりて、或る國家の領土内に優先權を有するものにして、其領土は尙ほ其の國の所領とならざるものとす。

(四)租借地例へば獨領膠州灣の如し。

之れを要するに現今の解釋によると、殖民地と云ふのは、母國民の移住地として或は放資國として、或は商工業を發達せしむる爲め所有してゐるものであつて、又母國は常に他の諸國よりも、自己の風俗言語等を扶殖する點に於て他國よりも殖民地の人民に最も著しき地位を有するものである。

現今獨逸殖民地の面積は約二百九十二萬方キロメートルに達し、(麻洛哥問題解決の結果、其の面積二十萬方キロメートルを増加せり)之れを本國の面積五十四萬方キロメートルに比する時は大なること約五倍である、乃ち此等の面積は次ぎの通りである。

(一)亞弗利加

東部亞弗利加

九九五、〇〇〇 方キロメートル

南西亞弗利加	八三五、〇〇〇
カメルン	七六、〇〇〇
トーゴ	八七、〇〇〇
(二)南洋地方	
ニューギニア、ビスマルク群島	二四〇、〇〇〇
カロリン、タラウ、マリアン	二、六〇〇
サモア	二、六〇〇
(三)極東地方	
膠州灣(青島)	五五〇
合計	二、九二三、七五〇

以上の面積内に住んでゐる白人の總數は、約二萬二千であつて、之に對する土人の數は千三百五十萬である。

獨逸の各殖民地の自然的狀態は著しく相異つてゐる。即ち亞弗利加方面の殖民地

にてはカメルンと東部亞弗利加は、河流があつて船運の便を自由にしてゐる。尙ほ水運上最も重要な意義を有してゐる三大湖がある。トーゴの河流は交通上別に記すやうな事もない。又た南西亞弗利加の河流の大多數は河床悉く土砂で埋まり、唯だ雨季數日間のみは非常に増水するので偉大なる速度を以て直下する事がある。また内地の高原は海岸地方に向つて著しく傾斜してゐる。此の地方の山系は峻峻のものが多い。東部亞弗利加の山脈の中殊に雄大なるものはキリマンチャロである。海拔實に六千メートルに達してゐて、亞弗利加の最高山の一である。カメルンにはカメルン山が海岸に聳へてゐる、其高さ四千メートルである。此の山岳は一千九百〇九年(明治四十一年)噴火した、そして其の山容の秀靈なる點は日本の富士山とよく似てゐる。又たトーゴの平原は概して高低が少ない。

又轉じて南洋方面を見るに、獨逸の殖民地の中殊に風光の明媚なるものはサモア島である。若し觀光の客にして其船を南洋の珍寶としてあるアヒア港に繋いで、その風光を欣賞せんか、ネーブルス、リヨン、サン・フランシスコ杯よりも遙かに優れ

てゐることを見るであらう。のみならず島内到着所の土地は肥沃である。總べて南洋には河流と云ふ程のものはない、唯だニューギニアに船運の便を有する二つの河流がある計りである。島の内部は到着所、原始の森林にて蔽はれてゐる大山脈であるから、人跡の全くない地方である。又原始林のある島には新メクレンブルグ、新ボイメルン及び珊瑚礁的群島なるカロリン、マリアンバラウ、マーシャル等の多数の島嶼がある。亞弗利加の獨逸殖民地の内交通の最も發達してゐるのはカメルンであつて非常なる面積を占めてゐる原始林を通じて海岸地方に達する事が出来る。此の地方には鐵道の布設さへある。

餘りに深い森林を有してゐるのは交通上不便のやうではあるが、又之と反對に全く森林のないのは地方に依つては大なる損害を與ふる原因となることがある。例へば世界の各地方中殊にメソホタミア及び清國の一部の如きは數百年間全く森林を失ひしが爲め最も肥沃なる土地が變じて砂漠と爲つたのである。故に獨逸の當局者は南西亞弗利加の砂土を耕作に適する良土と爲し適當なる濕氣を與ふるが爲め熱心に

造林事業を經營した。彼の獨逸の租借地青島(膠洲灣)などもやはり粘土と岩石との露出したる土地であつたか、此の地方の造林は非常なる好結果を見るやうになつた。獨逸の殖民地中、殊に氣候上及び健康上最も良好なるものは青島である。四季を通じて海水浴場に来る者數千人以上に達してゐる。殊に高山地方の新鮮なる空氣を呼吸する必要のある病者はラウシヤン山のメクレンブルヒ家の治療所で静養する事が出来る。熱帯地方の殖民地の氣候は白人の身體には不適當であるが故に到着所に熱病が多く、殊に中部亞弗利加地方では、吾人人類の敵たる不眠病の外に、牛馬の疫病及び動物に有害な蠅がある。南西亞弗利加の高原中氣候の最も良好なる地方にはこれ等の有害物はゐない。

亞弗利加に産する動物は、之を太平洋に比する時は遙かに豊富である。唯だ太平洋洲はいろいろの鳥類に富んでゐる。亞弗利加にては厚皮獸及び食肉獸の外に猿猴類の一種で『チムパンジー』及び『ゴリラ』と云ふものがゐる。鳥類でも『ゴッブリ』の外數十種ある。水中には鰐魚の唸る聲を聞くこともある。そして草原のある土地に至

るに従つて漸々是等の動物は少なくなると共に又狒々、豹等の動物が横行してゐる。次に鑛産物の中、殊に有名なるものは南西亞弗利加の金剛石、銅鑛などで、マリヤンの西部カロリン、バラウ、ナウル等の諸島では燐礦を産する。南西亞弗利加の金剛石鑛の利益は今に至るまでに、既に百萬麻以上になつてゐる。又燐礦もこれ等の小島より産するものとしては著しき價値を占めてゐるのである。

獨逸亞弗利加殖民地の土人の主なる部分は「バンツ」種族と「ホツテントット」種族である。「バンツ」は獨逸の熱帯地方にある三大殖民地及び南西亞弗利加の北半部に住居して居る。又後者は其南部に住居してゐる。是等の兩種族は獨逸に幾度か戰爭を爲さしめたのである。又東部亞弗利加には昔の主人公であつた亞刺比亞人がゐる。又商業を營む印度人がゐる。次に南洋諸島にはニューギニア及び其他の地方に黒奴と殆んど同じやうな「バプア」族がある。彼等と著しく相異なるものはカロリン、マリヤン、マーシャル諸島に住居して居る土人及びサモア人がある。サモア人は南洋地方の土着の人種の中最も容色の美麗なもので又最も進歩してゐる。

種族である。次にミクロネシア人及びポリネシア人は共に馬來種に屬してゐるものである。之に依つて見るに、獨逸の各殖民地に住居してゐる土人中、殊に多數であつて活動力のあるものは「バンツ」種族である。

獨逸の殖民地の中母國を距たること最も遠いものは南洋殖民地である。他の殖民地は本國より約二十日にて行くことが出来る。然るに南洋に行くには其の二倍を費さねばならぬ。これは經濟上最も不利益な點と云はねばならぬ。尙ほ獨逸の殖民地では多くは其の國境に於ては八個國乃至十二個國と境界を接してゐる。それ故に殖民地政策を最も完全にするには海陸軍兩方面の武備を發達せしめねばならぬのである。

獨逸殖民地の過去の經營に付いては、記憶すべき二大時期がある。即ち前者は一千八百八十四年(明治十七年)より其翌年に亘る時期で、後者は一千八百九十七年(明治三十年)より一千八百九十九年に亘る時期である。南西亞弗利加、東部亞弗利加、カメルン、トーゴ、ニューギニア、ビスマーク群島は一千八百八十四年に經營の緒

を開き、マーシャル群島は一千八百八十五年、青島(膠州灣)は一千八百九十七年に、カロリン、マリアン、パラウ群島及びサモアは一千八百九十九年に獨領となつたのである。一千八百八十四年(明治十七年)四月二十二日は獨逸殖民政策實施の誕生日である。此の日、時の帝國宰相ビスマルクがカツプスタット駐在の總領事に命じて、南西亞弗利加の商人ル德里ックの經營に係る事業を政府の保護の下に置くやうにしたのである。他の殖民地の大多數も亦た勇敢なる獨逸商人の企業的精神に謝せざるを得ないのである。即ちニューギニア及びビスマルク群島は旅行家レキンシ及びダルコロンによつて經營せられたる「ニコギニア」會社の依頼によつて政府の獲得する所となつたものである。又一千八百八十七年「ヤルイト」會社の下に經營せられたる共同事業はマーシャル群島及び他の諸群島を買收し得る端緒を開き、サモアは商業上の意味によつて、英獨米三國の間に割讓せられ、其の結果一千九百〇〇年三月一日獨逸の國旗を其處に見るやうになつた。カメルン地方にも優先權を有してゐる二個の會社があつたが、之れも政府の手に歸してしまつたのである。次に一

千八百八十四年カール・ペーラルによつて創設せられた獨逸殖民會社は同年東部亞弗利加に於て經營せられた。又同氏は一千八百八十五年、獨逸皇帝の保護狀を受領してから、獨逸東部亞弗利加會社の社長として非常に功績があつた。そして現時に於て見る如き東部亞弗利加經營の基礎を築くやうになつたのである。又膠州灣の租借は二人の宣教師の殺害せられた報酬として獲得したものである。最近、一千九十一年(明治四十四年)獨、佛兩國間にある麻洛哥問題の解決は獨逸をしてカメルン方面に其領土を大ならしめたのである。

殖民地の經營が一般に平和的に遂行せられたにも拘らず、然かも其の一部に於ては之を獲得する爲めに非常なる犠牲が拂はれてある。即ち其の状況の一斑を示せば次ぎの通りである。

總督フォン、ハーゲン、オットー、エーライス其他幾多の旅行家はニューギニアの食人種の犠牲に供せられ、又カロリン、マリアン、パラウの諸群島に於ける土人の好戰的性質は長時期に亘りて、幾多の遠征隊を派遣するの已むを得ざる

に至れり。殊に絶えず不穩を以て有名なるホナヘー島は一千九百十一年一月十三日、獨逸の艦隊より陸戦隊を上陸せしめデシヨカツチ山を襲撃して一揆を平げたり。又たサモアを獲得するに際しても英、米、獨の三國は力を併せて此の地に於ける在來の君主と連合せる土人を討伐せり。獲得後は務めて土人の不穩を鎮壓する手段として總督ソルフをして、専ら之が緩和策を講ぜしむるに至れり。亞弗利加に於ける獨逸の殖民地の中にて平和的發展を見しは只だ一のトーゴあるのみにてカメルンは獲得後直ちに一揆起り今日に至るまで尙ほ不穩の状態にあり。勿論是等は亂を醸すに至らずと雖ども絶えず討伐を行はざる可からず、之れが爲め多數の將校を失ひ、加ふるに天然の敵たる險惡なる氣候と戰はざる可からざるが爲めに、幾多の研究家とグスターフ、ナハチカエルの如き能吏を失ふに至れり。

東部亞弗利加に於ける一揆は之を前者に比する時は、其被害頗る大にして、初め東部亞弗利加會社は幾多の權利を獲得し、殊にサンジバルの「ソルタン」との契約に依りて海岸一帯の地方を經營するや、一千八百八十八年の秋、亞刺比亞人及

び之に一味せる土人の叛亂となり、サンジバルの兵士も亦大多數此の一揆に加入するに至り、爲めに獨逸人の居留地は多く彼等の手中に歸せり。只だバガモヨー及びダレスサラムのみ獨艦隊と英艦隊とが一致して同地方の海岸一體を封鎖せし爲め無事なるを得たり。依つて獨逸政府は獨逸東部亞弗利加會社を援助するの策を講じ、當時第二回目の亞弗利加横斷を實行して歸國せし亞弗利加通たるヘルマーン、ウイスマーンに托するに其の鎮壓の策を以てす。彼は埃及の首府カイロに於て組織せられし蘇丹人の部隊と、東部亞弗利加海岸地方に駐在せる兵士とを合して一部隊を編成せり、又た他に獨逸士官の指揮の下にある黒奴軍あり、彼等は即時、激烈に攻撃を開始し、一千八百八十九年五月八日バガモヨー附近にある敵の首魁ブシリーの陣營を襲撃し、其次週には海岸一體より敵兵を驅逐しタンガ、ハンガニー、ブシリーより破壊せられしムパアを占領するに至りしが、然かも新軍の同盟軍を得しブシリーは尙ほ之れに屈せずして南西方面よりバガモヨー方面に進撃せしも、フライヘル、フォン、グラベンロイトの爲めに大敗を被むりし

みならず、彼自身も遂に逃走の途次バンガニ附近にて捕虜となり、一千八百八十九年十二月十四日絞殺せられたり。次いで一千八百九十年四月、當時最も勢力を有せし暴徒の巨魁バナ、ヘリは南東の地方に於て其の勢力を集中せしが、之れ亦幾何ならずして平定せり。而して東部亞弗利加現時の國境は一千八百九十年七月一日英國との協約の結果、確定せるものにして、一千八百九十一年一月一日獨逸東部亞弗利加會社との契約によりて此の地方の行政權を握るに至れり。

此の新組織を見たる初年にも尙不穩の狀態ありて、爲めに非常なる損害を被むれり。即ち一千八百九十一年八月十七日にフオン、ツユレウスキは流賊ツエ、の伏兵の爲めに戦死し又同時に戦死せしもの數百人に及べり。爾後討伐の結果として一時的平和を見たるも、一千九百〇四年南部及び南西部地方に於て新たに大亂を生じたり。其の原因は主として妖術を業とするものが基督教の宣教師及び獨逸政府の爲めに其業を奪はれむことを恐れて土人を煽動せしものなり。而して此の一揆の更に他方面に蔓延せざりしは主としてヨハンネス少佐の指揮下にあ

る軍隊の迅速なる行動に歸せざるを得ず。政府も又他の強力なる軍隊を派遣し一千九百〇五年を以て全く鎮定せり。

以上南西亞弗利加に於ける騷擾は非常なる打撃を本國に與へたり、即ち新たに着手せらる可き事業の困難なるは勿論、尙ほ南西亞弗利加の警備隊は常に獨逸の軍隊より編成せられしを以て、一兵を失ふ毎に直接に家族に大なる影響を及ぼせり。獨逸殖民會社が南西亞弗利加に於て殖民地經營の初期には別に何等の騷擾を醸さざりき。之れ同會社は兵力殖民地戰爭を有せざるを以て「ホツテントット」及び有力なる「バンツ」種族に對しては常に干涉を避けて専ら自由放任の政策を行ひしを以てなり。然るに一千八百九十二年「ホツテントット」の流賊の首魁ヘンドリック、ウキトポイは部下の勢力次第に増加せしを以て此の地方に派遣せられしフランクア大尉は精銳なる士卒二百名を率ゐて、其の翌年四月十二日ウキトポイを其の城柵ホルンクランスに襲撃せり。然かし敵軍の首魁は部下の一部と共に遁逃せしかば、益々戦局を擴大し、次でフランクア大尉の後繼者たるロイトワイン

少佐の時代即ち一千八百九十四年九月九日ウキトボイは殘餘の與徒と共に悉く降服せり。斯くナマラントの地方はウキトボイ敗亡後、一時靜穩なりしも、更に一千八百九十七年の初期に於てカウアスの「ホツテントット」及びヘレロス等一揆を起しエストルフ部隊のゴバピス附近に於て勝利を得たるに拘らず、殖民地全部に於ける警備隊を召集するの已むなきに至れり。而してロイトワインの總督に任せられし以後、彼は専ら羅馬人の分割的支配の主義を適用し、即ちヘレロスの主魁サムエル、マハレロを獨逸人間に抑留し、且つヘンドリック、ウキトボイ及びシモン、コツパの部下にありし「ホツテントット」の部隊を獨逸の部隊に合併せしが、其結果は良好にして暴徒の多くは降服の已むなきに至り、是等の首領は軍法會議の宣告によりて銃殺せらるゝに至れり。

獨逸人の移住は牧畜を業とせる「ヘレロ」族に向つて不利益を與へたるや明かなり。即ち彼等の中には獨逸人の爲めに自己の本據より驅逐せられ全く一物をも所有せざるに至るものあり。而して一九百〇三年の冬、先づボンデルツアルト、「ホ

ツテントット」の騷擾となり、總督は之が爲めに駐在部隊の大部分を南方に向はしむるに至れり。同時に黒人は互に氣脈を通じて一般に蜂起し、一千九百〇四年正月十二日及び十三日の如きはヘレランドに於ける獨逸人所有田園居宅は悉く荒され、二百餘人の人命を失ひ大居留地のみは幸に敵手に落ちざるを得たり。而してロイトワイン大佐は南方に派遣せしフランク大尉をして「ヘレロス」族を討伐せしめたり。即ち一千九百〇四年一月二十七日にオカハンドヤにて、同年二月二日カリビブにて、同月四日オマルにて數回の激戦を爲し、殊に最後の戦は尤も激烈にして遂に之れを撃退せり。是れヘレロ戦争中の極めて名譽ある戦勝と稱せらる。海軍の陸戦隊も亦上陸して専ら警備に任じたり、次てロイトワイン大佐は同年正月二十七日を以てボンデルツワルト、「ホツテンドット」とカルクフォンタインの條約を締結して二月十二日カリビブに入れり。尙エストルフ少佐の下に新たに編成せられたる西部部隊はオマル、よりワオターベルグに進み、グラセナツプ少佐の下にある東部部隊はゴバピスを出發して途次數回の衝突戦の爲め幾多の人

命を失へり、即ちオビコロにては七名の將校と十九名の兵士を殞するに過ぎざりしも、敵の主力を集中せしオンヤチベルグにては更に其の數甚しかりき。ロイトワインの主力はオンガンヂラの附近に「ヘレロ」族を討伐し、又オビウムボアの附近にて敵の聯合軍に當りしも勝敗決せず、更に兵力増加の必要を生ぜしを以て新たに之れが總司令官としてフォン、トロター中將を派遣せり。而して討伐諸隊は漸次進撃してワオターベルグ附近にて敵の新主力に當り、一千九百〇四年八月十一日を以て攻撃を開始せり。爲めに「ヘレロ」族は此の大部隊の包圍を脱せんとして非常なる人畜を失ひ、且つフォン、トロター將軍は激烈に進撃して敵の退却線を遮斷し、彼等を一滴の水なき草原中に陥れて其の戰鬥力を奪ひ、死者千人以上に達せり。而して南方にては更に新たなる事件を生ずるに至れり。

以前、一揆に加入せし「ヘレロ」族の雜種モレンガは一千九百〇四年の夏、其逃走地たる英領より歸り來りてカルラス大山脈の東部に於て専ら掠奪を行ひ漸次部下を増加して或は獨逸の斥候を銑殺し、或はステムベル中尉の部隊を撃退する等

勢力益々熾にしてナマ地方一帯にも不穩の影響を與ふるに至れり。爲めに獨逸人の殺害せられしもの多く、當時南部方面の警備の任に當りしレンゲル少佐とフオン、コツペイとは進てモレンガに當れり、而して曩きに一時降服せしウキトボイも亦た叛旗を翻してブルガスドルフ大尉を殺害せしかばフォン、トロター將軍は更にダイムリング大佐を以て之れに當らしめたり、其の後數回に亘れる戦争後同年十二月四日ヘンリック、ウギトボイはナリス附近にて大敗しアウオブ溪谷方面に退却せしかばダイムリング大佐は益々自己の勢力を集中してウキトボイを追撃せり、而かも此の間に其の勢力を回復せし敵は大ナバスの附近にてマイステル少佐と戦ひ、即ち一千九百〇五年一月二日より四日に亘り約五十四時間戰鬥の結果、一時獨軍は全く敵軍の爲めに包圍せられ、多くの死傷者を出すに至れり。

ダイムリング大佐は自己の勢力を集中して更に敵の主力たるモレンガに攻撃を加へし時、計らずも新敵手の生ずるありき。即ち從來あまりに注意を惹かがりしベタニ酋長コルネリユスにして彼はトゥブレル少佐の部隊に破られしに拘ら

ず、退却の途次屢々獨逸の斥候を銃殺せり。其後彼れとの間に締結せられむとせし平和條約は却て獨逸の爲めに悲しむ可き記憶を残すに至れり。即ち尤も勇敢に談判の衝に當りしフオン、トロター中尉がコルネリユスの陣營に於て（一千九百〇五年六月十四日）銃殺せられしと是れなり。加ふるにモレンガとの談判も亦更に進捗せず、戦は益々長時期に亘るの傾向ありしが、同年冬を以て幸に其の終りを告ぐるに至れり。即ち自己の隠れし處を出て、ウキンスク、キートマインシヨールの兵站線に出沒せしヘンドリック、ウキトボイは同年六月二十九日フアルグラス附近にて戦死せしかば、其部隊は多く降服せり。次ぎにコルネリユスは其翌年三月一日フォルクマイン大尉によりて捕獲せられ、モレンガは其の年の秋ヨハネス、クリスチャンの下にあるボンデルツワルトの部族と合して抵抗せしが、十月二十四日オランゼ河畔のハルテビーストムントにて敗れ、クリスチャンはフオン、エストルフ少佐より攻撃せられて東方に退去し、一千九百〇六年五月四日ベヒ大尉の爲めに攻撃せられ、其の少數の部下と共に英國領内へ逃走せしもケーブ殖民

地の巡邏隊に捕獲せられ、次て武器を棄て、降服せり。斯の如く「ボンデル」族は其の巨魁を失ひしも、尙抵抗しつゝ、一千九百〇六年十二月二十三日ウカマス條約によりて戦争終了せり。次ぎはモレンガにして彼の徒黨は多く英、獨共同の威壓を恐れてウカマス條約に服せしかば、彼は一味の徒黨十人と共にシモン、コツパーに會せむとしてエリオット大尉の支配の下にあるケーブ殖民地巡邏隊の激烈なる追撃を被むり、名譽の戦死を遂ぐに至れり。最後にホツテントットの首領シモン、コツパーは一千九百〇七年以來カラハリに退却し、其餘黨と共に或は人家に侵入し、或は家畜を掠奪するを以てエツケルト大尉は極めて近世的の戦争材料を利用し、且つ全部駱駝隊にて追撃せり。而して一千九百〇八年三月十七日を以て悉く彼等を滅盡せり。而かも同時に獨軍にありては最も勇敢なる指揮官エツケルト大尉を失ふに至れり。

吾人が以上の如く南西亞弗利加の殖民地事業を茲に示したのは、此内の多くの點に最も重要な意味があるからである。即ち南西亞弗利加に集つた獨逸の軍隊は或

時は一萬四千の多きに達したのである。且つ此の地方の戦役に依つて獨逸は一種の眞面目なる軍事的經驗を得たのである。何となれば此の戦役中、血を流した將校の數は二百人、兵士の數は實に二千五百人に上つた。彼等の中には骨を砂上に曝したるものも少くはない、又幸に郷國に歸つたものも又非常なる鐵石心と犠牲的精神とを發揮した當時のストラパフェンの戦役を回想しないものはないのである。斯の如きは獨逸國民の戰鬥的能力を更に鞏固にしたのである。

一千九百〇七年獨逸は一般殖民地行政に關する本部として、帝國殖民省なる者を設置した。省務は大臣次官の下に政務、財務、人事、兵事の四局に分けてあつて、海軍省所轄なる膠州灣を除く外、總ての殖民地を監督したのである。各殖民地には總督があつて一名の參事官がある。又數多の屬官があつて、各殖民地は數多の管轄區に分けられ、又た此の管轄區は更に數多の地方に分けられ、其中には全く獨立してゐるものもある。

殖民地に關する保護權は皇帝の權限にあるのである。即ち宰相、殖民省大臣、總

督より提出せられたる結果の裁可權を有してゐるのである。唯だ殖民地財政は帝國議會が之を監督してゐる。即ち毎年各殖民地は其の豫算案を編成して移住民の代表機關に諮問して、其の結果を本省に報告するのである。本省は更に此の報告を審査した後之れを帝國豫算表に組み込み、聯邦議會及び帝國議會の討議に附するのである。

國法上より見る時は、殖民地は内地の一部分に過ぎないのであるが、民法上より之れを見る時は内地ではない。故に或條約例へば罪人引渡し條約等の如きは殖民地には適用しないのである。又關稅政策の立脚地より見ても各殖民地は自己固有の關稅區域を有してゐる外國である。實に關稅は各殖民地の主要なる財源である。且つこれ等の關稅中には財政上よりの見地から課稅せられたるものもある。併し尙ほ保護關稅の意義によつて適用せられてゐるものが多いのである。次ぎに殖民地に課せらるゝ稅目に就いては、移住民には主に間接稅、殊に營業稅を課する。土人には人頭稅例へば戸別稅の如きものを課するである。

獨逸殖民地の發達と共に殖民地自治制度に對して熱心に努力するやうになつた。勿論此の努力は其の費用を負擔するものゝ當然の權利である。獨逸の亞弗利加殖民地の中、南西亞弗利加は居留民の數が最も多く、そして或程度の自治制を行つてゐる。即ち自治體或は地方團體を組織して地方の政務に參與し、或は地方より議員を選擧して地方の政治に關係してゐる。而して此の議員たるものゝ資格は獨逸人にて年齢三十歳以上の者及び二年前より殖民地に土地を所有してゐるもの、或は一定の職業に従事して居るもの等である。

以上の選擧に基くものと共に總督は更に自己の任意によつて同數の議員を選擧するのである。斯くして成立したる地方議會は一種の諮問機關であつて各議員は總督に向つて自己の意見を提出する事が出来る。又宰相より同會に諮問したものに對しては之を可否する權を有してゐる。

各殖民地の警備隊の所在地は亞弗利加に在る三大殖民地であつて、今一千九百十一年の報告によれば左の如くてある。

南西亞弗利加の警備隊は將校及び將校相當官百三十名、軍吏四十八名、下士及び下士相當官四百一十一名、兵士(白人)千六百一名とす、同隊は歩兵十中隊、三個の機關砲隊、三個の砲兵中隊、一個の電信隊並に病院、糧食係、倉庫係等あり。而して豫算上にて規定せられし兵數は二千四百三十一人とす。東部亞弗利加にては白人の壯丁二千四百二十二名、黒人の壯丁二千五百二十八名、部隊は十四中隊より成り、各中隊の人員は百六十二名、他に機關砲隊通信隊等あり。カメルンにては白人の壯丁百五十名、黒人の壯丁千三百名、部隊は十個中隊より編成せられ、各中隊の人員は約百二十五名の黒人にして他に一個の砲兵分遣隊あり。其の他の殖民地は只だ巡邏隊を有するのみ。曩に南西亞弗利加及び東部亞弗利加に於ける騷擾の甚しきに至るや、一時殖民地部隊編成の必要起りたるも其後兩地方とも靜穩に歸し目下の方針は寧ろ殖民地駐在部隊の兵數を減少せしめんとするにあり。云々。

現時の問題中、常に重要な意義を有する者は經濟的發展である。其の根本は交通、生産、商業の三大要素の調和に依るので是れは殊に殖民地に於て益々大なる必要のあるものである。想ふに生産と商業とは殖民地に在る人民の企業心に依つて發達するものであるが、而も國家の任務として遂行す可きものは、實に殖民地の交通機關を完備する事である。

殖民史の吾人に示す如く、大事件に遭遇して必要を自覺するまでは國家は多く此の如き事業に着手する事を好まないのである。而も獨逸にては殖民地の交通機關の設備及び改善を充分にする必要を認め、先づ鐵道布設は一千八百九十一年東部亞弗利加に於て開始し、ウサムバラ線及び中央線を布設した。前者は一鐵道會社の經營にて其の布設中、非常に財政の困難に遭遇し、爲めに政府は自ら代つて此の事業を繼續し、一千九百〇五年百二十九キロメートルの竣功を示した。中央線は一千九百〇四年政府保證の下に不接續的支線として先づモロゴロまで竣功した。之より先き一千八百九十七年に計畫したスワコブメント及びウ井ンドウク間の運轉を開始した

が、政府自ら之が經營の任に當つて一千九百〇二年一般公衆の利用に供するやうになつた。又た一千九百〇三年に着手して一千九百〇六年の冬に竣功したオタビ線は前者と異つて純然たる企業的精神の産物であつてオタビカル地方の銅鑛の採掘する爲めである。而して豊富なる鑛産物が如何に交通事業の發達に依つて著しき影響を與へたかの好個の例證である。

南西亞弗利加の騷擾は政府が同地方に向つて爲さんとする交通政策に大なる動搖を來たすやうになつた。當時第一次の殖民大臣であつたベルンハルト・デルンブルヒは亞弗利加の重要な殖民地を根本的に視察した結果、交通機關の規模を擴大しやうとした。此の一事は自然他の殖民地にも影響を及ぼし、東部亞弗利加ではウサムバラ線はキリマントシヤローに達し、更にウキクトリア湖畔まで延長した。又中央線はタンガンジカを通過して海岸地方と連絡するやうになつた。而して此の方面に於て中央亞弗利加の三大湖水を連絡して、沿岸の航路を發達せしめむとの考案を抱くものさへ生ずるやうになつた。

カメルン地方は一千九百〇六年五月四日擔保條例を發布し、同年直に着手した。マネングバ線の一部は、利子擔保の制度に依つて敷設したのである。此後更に此の線路は延長せらるゝてあらう。其他所謂中央地方線及び南方線等を計畫し、殊に最近佛國との麻洛哥問題に關する談判の結果に依つては其の領土は從來よりも擴張せられ、隨つて鐵道も亦た更に延長するであらう。

トリゴリにてはローメ及びアネヒョー間の海岸線の外、内地に又二線がある。其の一は既に竣功し他は目下建設中である。

獨逸植民地の港灣の位置に就いては租借地たる膠洲灣を以て第一とする。同灣は小港の外に現今約二、五方キロメートルの面積を有する一の大新港を有してゐる。一千九百〇四年時の總督トルツベルの計畫したものである。

殖民地に關する海運及び電信は今を去る二十五年前には、只僅かにウオエルマー線があつて千五百噸乃至二千噸の汽船を以て本國と西部亞弗利加との間を航行するのみであつた。現今では同地方と本國との間を航行するものが四線ある。何れも

獨逸人の經營であつて五千噸乃至七千噸の船舶を使用してゐる。又東部亞弗利加との交通は英國船の外に獨逸の東亞弗利加線がある。又た膠洲灣には漢堡亞米利加線が連絡してゐる。ニュギニアには北獨逸「ロイド」及び南洋方面には「ヤルイト」會社の汽船がある。尙ほ亞弗利加の三大殖民地の沿岸航路は殊に發達してゐる。

亞弗利加の獨逸植民地の電線の布設哩は遙かに鐵道の布設哩數を超過してゐる。又た海底電信は從來は英國の所屬であつたが最近獨立してトリゴリ、カメルン及び南西亞弗利加と獨逸本國との連絡を計畫してゐる。其他獨逸は陸上四千六百キロメートル、海上五千二百キロメートルを隔てたる本國と殖民地との間に無線電信の實驗をした。

獨逸の殖民地は尙ほ初期なるに拘はらず、最近十年間の進歩發達は非常なものである。此の一端因ともいふべきものは鐵道布設が生産力に影響を及ぼしたことがある。其最も主要なる産物の中殊に第一に擧ぐ可きものは人口に膾炙せる南西亞弗利加の金剛石である。金剛石は一千九百〇八年五月ルデリック灣附近の砂中より初め

て發見せられたものである。此寶庫は極めて豊富であつて、一千九百〇九年の輸出額は千四百萬麻であつた。一千九百十年には更に増加して二千萬麻となつた。抑も獨逸は此の地方を獲得する爲めには非常な犠牲を拂つて、南西亞弗利加の戰爭（一千九百〇四年—一千九百〇六年）に費消した金額の如きは無慮四億二千萬麻に達してゐる。其れ故に採掘の金剛石には財政補助として輸出税及び手数料を課税することとした。唯だ遺憾とす可きは、徒らに投機心に驅られてゐる徒が此の地方へ移住することである。此の金剛石を發見したのは殖民會社であつて、會社の配當は一千九百〇八年には二百パーセントでその翌年の七月には更に二千一百パーセントに上り、最近では動亂の爲め六百パーセントとなつた。ルデリッツ灣附近には金剛石掘採を目的とする無数の會社が設けられたが、何れも其の資本を蕩失し大多數は破産するやうになつた。目下採掘中の金剛石坑は迅速に枯渴せざると共に、その精選法も完全してゐるから將來最も有望なるものである。今日政府が之を監督して價格を維持せしむることは最も重要な事である。

殖民地の産物の内、吾人々類にとつて金剛石よりも更に重要なものは綿花である。現今世界各国は多く之を北米合衆國から供給せられてゐる。然るに綿花の需用高が年々増加して行くに拘らず、同國の生産額は變化しない。此間の消息に通じてゐるデルンブルヒは一千九百十年四月十四日の演説の中に、北米合衆國の綿花の生産額は將來決して増加しないと預言してゐる。故に獨逸の殖民地は自國の需要を充すが爲めに綿花の栽培をやるやうになつた。そして此の目的を既に達してゐるものは英國である。彼は自國の需用額の大部分を埃及及び印度より得てゐるのである。獨逸と佛國とは此の經驗は未だ初期である。併し獨逸は年々綿花の爲め五億麻の支出を爲すに對して、其の殖民地より輸入するものは一千九百年には六十萬麻、一千九百十一年には二百萬麻に達した。此の點に於て獨逸は既に佛國を凌駕してゐる。専門家の言に依れば獨逸の殖民地は將來三十年の後には本國の需要を悉く供給する事が出来るとの事である。他の輸出品は尙ほ初期であるが只だ南西亞弗利加の銅と南洋の燐礦とは最近最も著名なるものである。

之を要するに熱帯地方の産物に對する年々の需要額は十五億麻で、其内自國の殖民地より輸出せらるゝものは約一億麻である。又獨逸の各殖民地及び膠洲灣の貿易總額は一千九百十年に約三億麻、其の中輸出額は一億二千萬麻、殘餘の數は總べて輸入額である。次ぎに商業上最も長足の進歩を爲したるものは膠洲灣である。此灣は開港以來僅かに十四年の短日月なるに、既に東亞諸港中最も優勢の地位に列するやうになつた。それに山東鐵道が貫通し、背後には炭田があるから殊に重要な意義を有するのである。

各殖民地の健全なる進歩と母國の發達とは資金放下に對する嫌忌の念を消失したるを以ても其一斑を知ることが出來やう。即ち現今植民地に放下したる資本は膠洲灣を除いて約二億五千萬麻に達してゐる。之れに對して政府より放下したるものは僅に一億に過ぎない。又殖民地と海外との交通事業に對して投ぜられたるものは八千萬麻乃至一億萬麻である。

土地の所有權は殖民地では最も重要な問題である。既に前にも述べてあつた通

り、殖民地成立の當初、諸種の會社は土地所有權或は優先權を有してゐた。この優先權は漸次政府の手に歸したのであるが、所有權は現今に至るまで南西亞弗利加の獨逸殖民會社が猶ほ全部之を所有してゐる。「ニユギニア」會社も又其の一部分を有してゐる。然かも是等會社の土地所有權、及び鑛山採掘權は殖民政策上弊害を與ふる事が多く、最近政府は土地賣買に關しては殖民會社と契約して或期間は土地の價格を騰貴せしめないやうにした。此の如くにして從來屢々目撃したる所の殖民會社の投機的移住は初めて其の跡を斷つやうになつたのである。以上の缺點が吾人の教訓となつた事は實に膠洲灣の土地制度が之を證明してゐる。即ち膠洲灣では獨逸が之を租借したる當時より土地所有權問題に注意し、専ら從來の弊害を除去するが爲めに先づ土地の賣却は政府以外には之を禁じた。政府は競賣其他の方法によつて之を私人に賣渡した。且つ政府は何時でも之を買戻す權利を保留し、また買手は政府の規定に基く建築方法を用ふる義務があるのである。又一度所有したる土地を他人に讓渡す場合には政府は其の純益の三分の一を收得するのである。此の純益は

買求めた時の價格、改善料及び六パーセントの利子を引き去つたものである。尙ほその利子と云ふのは膠洲灣では同地に課せらるゝ租地のやうなものである。土地所有權に關する秩序ある解決は膠州灣のやうな小範圍の租借地では容易に之を實行する事が出來た。そして之れが他の殖民地の土地所有權の改善問題に對しては尤も著しき例證となつたのである。

現今に於て最も解決を必要とする問題の中其の一番重要なるものは對土人政策である。一般の説によると土人を正當に取扱ふことは殖民地の發達に對て最も重要な基礎を爲すものであるとせられてゐる。併し此の見解は印度人及び濠太利亞人等には之れを適用し得るのであるが、原始種族の存在してゐる殖民地ではその適用は不可能の事である。何となれば移住民の進入と共に漸次其の數が消滅するからである。故に寧ろ今日に於て講ずべき問題は、如何にして此の觸接を調和し得るか、又如何にして彼等の存在を必要ならしめ得べきかといふことである。此の點に於て獨逸の殖民地は一般に考察を要する地位にある。今日に於て南洋土人が白人に對し

て到底競争する事の出來ない事は何人も知る所である。そして獨逸の殖民地行政が務めて彼等を保護するに拘らず、其の人口は年々減少するのである。即ち此の著しき例證はマーシャル群島及び新メクレンブルヒであつて只サモアに於ては之に反して年々増加してゐる。

又た亞弗利加土人中、「ブッシュ」種族と「ホッテントット」とは減少するが、黒奴の如きは多く増加しつゝあるのである。彼等は殖民事業に對して缺くべからざるもので、亞弗利加の熱帶地方では彼等を度外視する事は出來ないのである。此の點から見ても土人問題の解決の必要が解るであらう。即ち如何に黒奴に勞働の方法を教ふべきか、彼等に強迫的に之に従事せしむべきか、或は又た全く彼等を自然の狀態に放任す可きか、或は進んで歐洲風の教育を與ふべきかに就いては、種々の意見の存する所である。

初めから黒奴を發達の能力なきものとして、彼等の道徳上、精神上の要求に何等の努力をも假さざる少數の殖民政策家中には、其の例證として彼の滅亡したる「ボ

「ア」共和國の黒奴取扱の状態を引證するものもあるが、之は實に時勢の變遷を知らないものである。現今では既に斯る家長的制度若しくは進歩しない國家組織の時代を通過して更に複雑なる關係となつてゐる。殊に黒奴を蔑視するものゝ意見の一致する點は、若し白人が黒奴に言語其他の文化の諸要素の知識を與へても彼等は永續して之を受くる能力がないといふことである。斯の如きは、一方に自己の不注意を知らないのである、又一方には自己が土人に對して恐怖の念があるからである。決して正當に土人を理解したものではない。若し吾人の有する文明的勢力の手段によつて、黒奴が他日吾人に向つて打撃を與ふるやうな地位に達する事があつても吾人は暴力に訴へて彼等の進路を妨ぐるやうな事を爲すべきではない。何となれば人心は永久に壓抑すべきものでないからである。彼の北米合衆國の如く、黒奴は白人と同等の權利を有し、且つ同等の教育を受け得る事が出来ても彼等は何等の要求をも爲さない。何となれば彼等は白人と充分競争する事の不可能なる事を自覺し、又敢て高等の職業をも求めないからである。

獨逸政府は人道的の意義に依り道徳上精神上の向上を計つてゐる。世には獨逸は殖民地を有するの能力なしなど非難する者があるも、過去二十五年乃至三十年間に於て豊富なる經驗を積める獨逸の殖民政策は、之を長き歴史を有する他の殖民的國民よりも土人問題の解決に付いては非常なる好成绩を擧ぐるやうになつたのである。彼の英國の印度に於けるが如く、二百五十年に亘る長き殖民歴史を有するに拘はず尙ほ印度の騷擾は絶えないのである。其が爲めに純然たる商人的行政組織の破壊を招くやうになつた。

殖民地に於いては土人と白人とは法律上同等である。併し政治上の權利は同じではない。白人は獨領南西亞弗利加に於いて進歩した自治制度を有してゐるが、土人は此の恩典に浴する事は出來ない。而して土人の事件に關しては獨逸方面の委員は之れが代表者となり又た一揆に加入せざる種族は官吏として俸給を受け、殊に其の首長は部内の秩序を維持する責任を持つてゐる。また彼等は勞働者の集合所に住んでゐる。此の状態は時に勤勉の土人をして再び舊時の遊食の民と化せしむる憂がな

いてもない。尙ほ膠洲灣に住んでゐる清國民は以上の土人と同一視することは出来なう。
以上はワルデコイル・チムメルマン博士の議論であるが、所論中には固より取捨すべき點がある。併し戦前に於ける獨逸殖民地の大要は此の論文に依つて充分に伺ふに足るのである。

||終り||

大正七年五月二十七日印刷
大正七年六月十九日發行

科學の生んだ驚く可き獨逸の富強

定價壹圓二十錢

著者 河 南 休 男
東京府北豊島郡雑司ヶ谷村水久保一五一

發行者 阿 部 仙 太 郎
東京市神田區駿河臺東紅梅町六

發行者 川 上 猪 五 郎
東京府下多摩郡下澁谷村一五一五

印刷者 中外印刷株式會社
東京市神田區中猿樂町十七番地

不	複
許	製

發行所

東京市神田區
駿河臺東紅梅町六

東洋出版社

36/

26/

終

